

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査報告書

令和3年3月

鹿児島市ICT推進室

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別構成	3
(2) 年齢別構成	3
(3) 職業別構成	4
(4) 地域別構成	4
2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況	5
(1) 世帯でのインターネット利用状況	5
(2) 情報通信機器の保有率	7
(3) 自宅でのインターネット接続回線	8
(4) 小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況	10
3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況	12
(1) 個人でのインターネット利用状況	12
(2) インターネットの利用機器	15
(3) インターネットの利用頻度	16
(4) インターネットで利用するサービス	17
(5) テレワークの実施状況	19
(6) インターネットの利用意向	20
(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由	22
(8) 携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス	25
(9) 利用したSNS	26
(10) SNSを利用する頻度	27
4. 鹿児島市が発信する行政情報	28
(1) 行政情報の入手方法	28
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報	29
5. 鹿児島市が行う情報化への取組	30
(1) 情報化施策の利用状況	30
(2) 情報化施策で効果を実感した状況	31
(3) 情報化による市民サービスの利用意向	32
(4) 行政情報を活用する際の課題	34
(5) オープンデータとして公開すべき情報	35
(6) 情報化に対する不満や不安	36
(7) 情報化施策についての自由意見	39
III. 参考資料 自由意見	40
IV. 資料 調査票	51

I. 調査の概要

■ 調査目的

現行の第四次地域情報化計画の期間終了を令和3年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、市民意識調査を行うものである。

■ 調査対象者

16歳以上80歳未満の鹿児島市民

■ 対象者抽出方法

本市の住民基本台帳（令和2年4月現在）から年齢階層別・性別・地域別人口構成により無作為抽出

	男	女	合計
10代	87人	91人	178人
20代	201人	229人	430人
30代	251人	282人	533人
40代	302人	334人	636人
50代	263人	302人	565人
60代	303人	331人	634人
70代	240人	284人	524人
合計	1,647人	1,853人	3,500人

■ 調査方法

郵送配付、郵送又は「鹿児島県電子申請共同運営システム（以下「電子申請」という。）」による回収

■ 調査期間

令和2年8月5日(水)～令和2年8月31日(月)

■ 有効回答数

1,784件(回答率51.0%)

(うち、電子申請による回答233件(回答率6.7%))

■ 調査結果の留意事項

- ・ 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（％）の分母である。
- ・ 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100％にならない場合がある。
- ・ 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100％を超える。
- ・ 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- ・ 設問によっては、総務省が実施した令和元年通信利用動向調査（以下「全国」という。）の結果と比較、分析を行った。
- ・ 設問によっては、本市が実施した平成 23 年度調査（以下「前々回調査」という。）及び平成 28 年度調査（以下「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

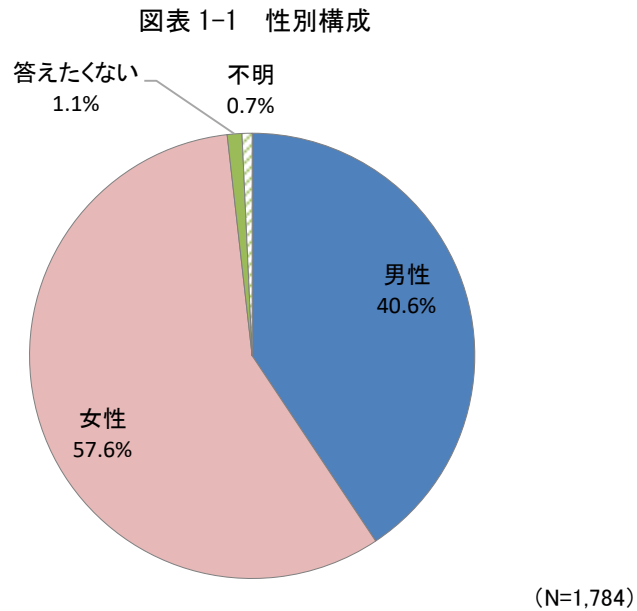
	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 23 年 8 月 (高校生を除く) 平成 23 年 12 月～24 年 1 月 (高校生)	平成 28 年 8 月
調査対象者	16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送 又は電子申請による回収 (高校生を除く) 学校による直接配布、直接回収 (高校生)	郵送配付、郵送 又は電子申請による回収
調査対象者数	3,200 人	3,500 人
回答数	1,584 件 (うち、電子申請 24 件)	1,664 件 (うち、電子申請 99 件)
回答率	49.5% (うち、電子申請 0.8%)	47.5% (うち、電子申請 2.8%)

II. 調査結果

1. 回答者の基本属性

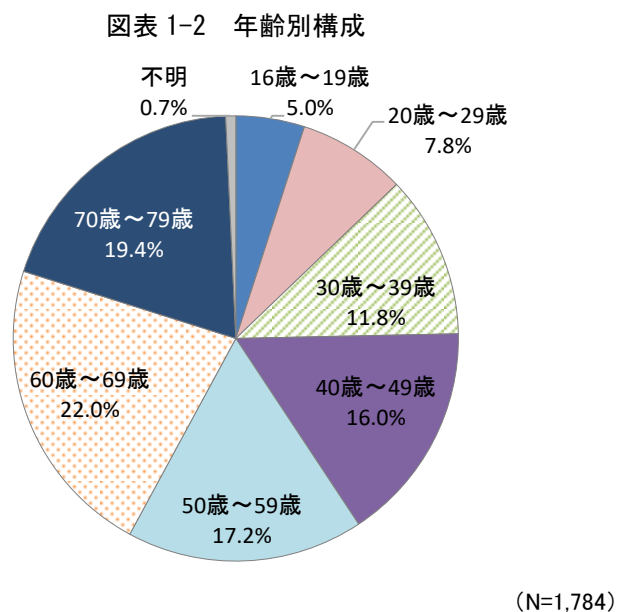
(1) 性別構成

性別については「男性」が40.6%、「女性」が57.6%、「答えたくない」が1.1%となっている。



(2) 年齢別構成

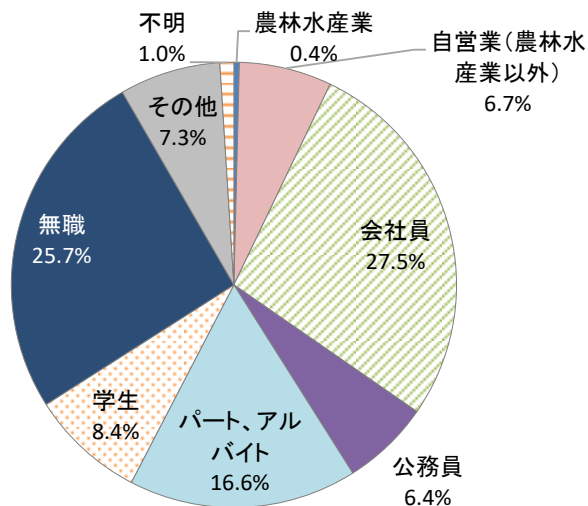
年齢については、「60歳～69歳」が22.0%で最も多く、次いで「70歳～79歳」が19.4%、「50歳～59歳」が17.2%となっている。



(3)職業別構成

職業については、「会社員」が27.5%で最も多く、次いで「無職」が25.7%、「パート、アルバイト」が16.6%となっている。

図表 1-3 職業別構成

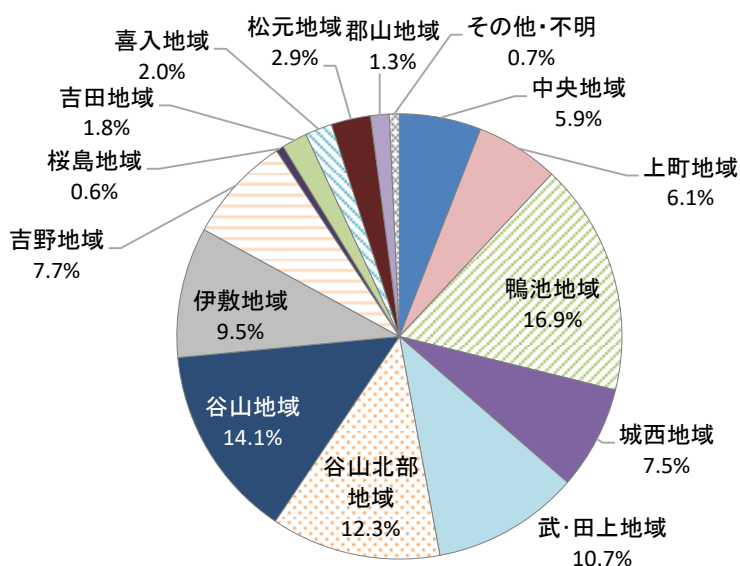


(N=1,784)

(4)地域別構成

居住地については、「鴨池地域」が16.9%と最も多く、次いで「谷山地域」が14.1%、「谷山北部地域」が12.3%となっている。

図表 1-4 地域別構成



(N=1,784)

2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

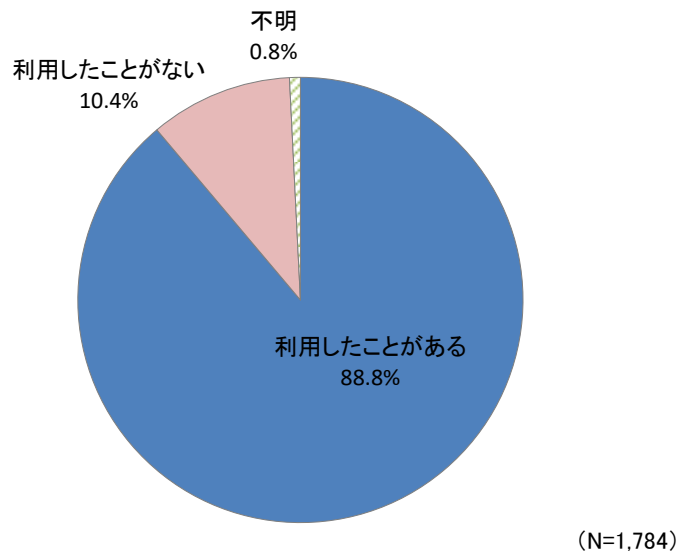
(1) 世帯でのインターネット利用状況

問1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

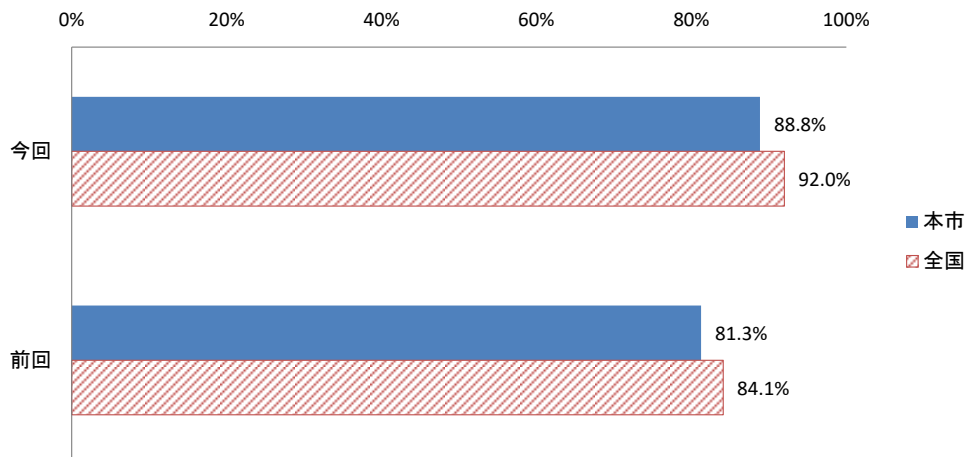
世帯でのインターネットの利用状況については、「利用したことがある」が88.8%、「利用したことがない」が10.4%となっている。（図表2-1参照）

インターネットを利用している世帯を前回と比較すると、7.5ポイント増加している。前回は全国平均と比較して、2.8ポイント下回っていたが、今回は3.2ポイント下回っているものの、インターネットを利用する機会が多くなったことが伺える。（図表2-2参照）

図表2-1 インターネット利用状況（世帯）

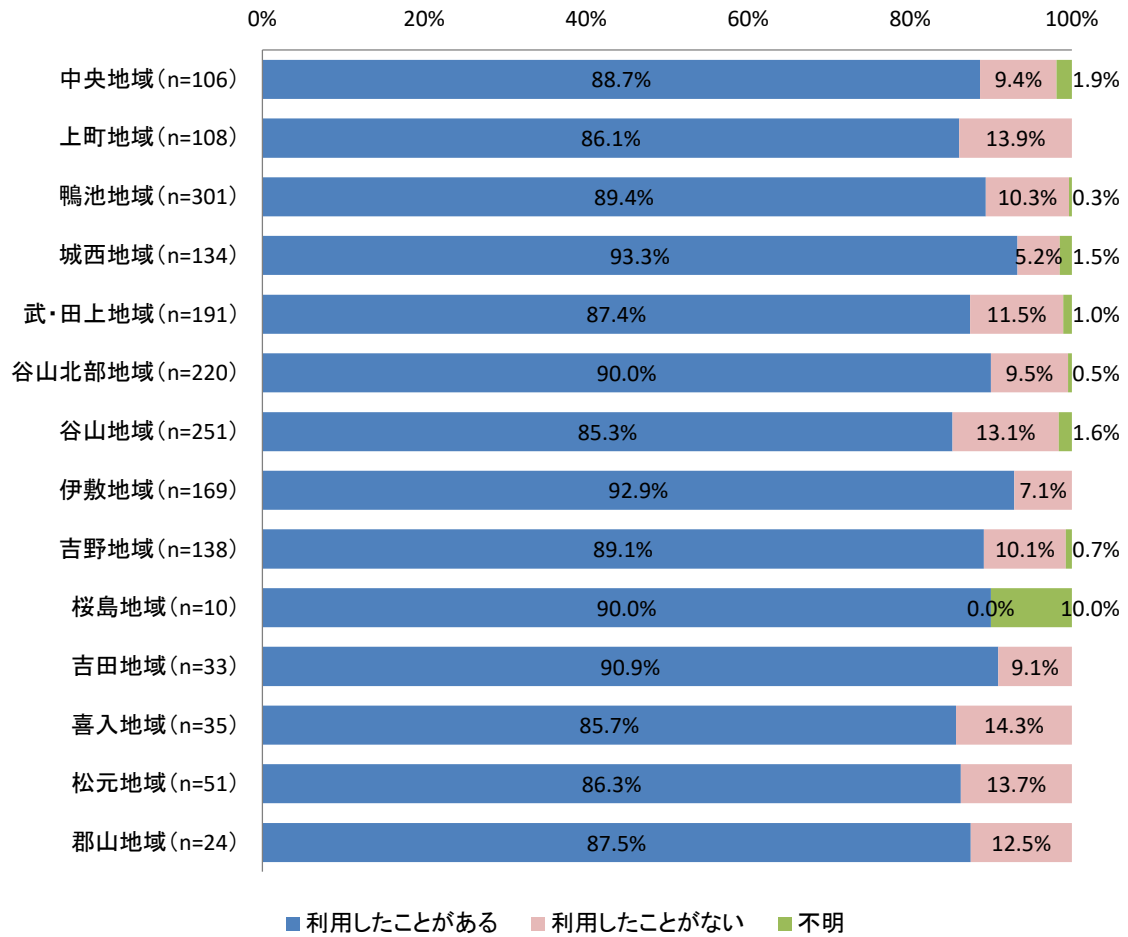


図表2-2 インターネット利用状況（世帯）の推移



地域別にみると、全ての地域で「利用したことがある」が約8割以上となっている。(図表2-3参照)

図表 2-3 地域別のインターネット利用状況（世帯）



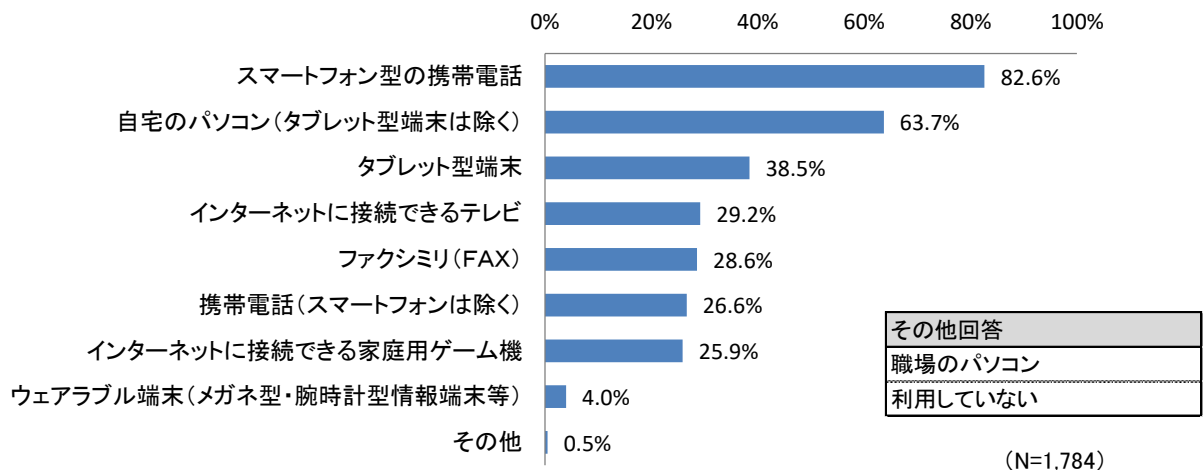
(2)情報通信機器の保有率

問2(1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

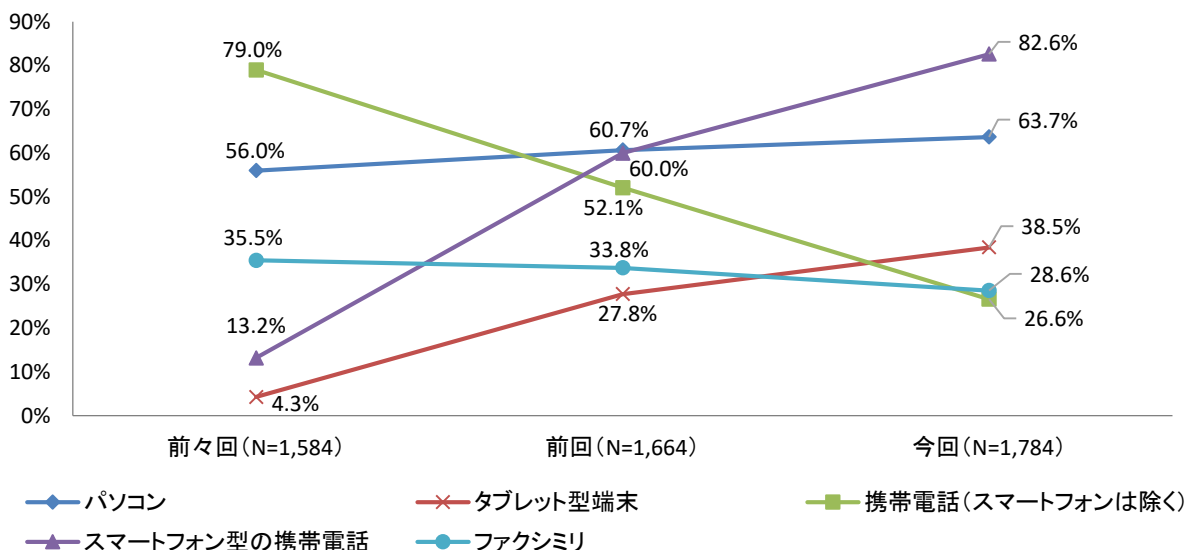
家庭における情報通信機器の保有率については、「スマートフォン型の携帯電話」が82.6%と最も多く、次いで「自宅のパソコン(タブレット型端末は除く)」が63.7%、「タブレット型端末」が38.5%となっている。なお「ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型情報端末等)」は今回初調査となっている。(図表2-4参照)

保有率の推移をみると、前回と比較して「携帯電話(スマートフォンは除く)」が25.5ポイントと大きく減少した一方、「スマートフォン型の携帯電話」が22.6ポイントと増加しており、保有率の最も高い情報通信機器となっている。また、「タブレット型端末」も10.7ポイント増加しており、「スマートフォン型の携帯電話」、「タブレット型端末」の普及が伺える結果となっている。(図表2-5参照)

図表 2-4 情報通信機器の保有率



図表 2-5 主な情報通信機器の保有率の推移



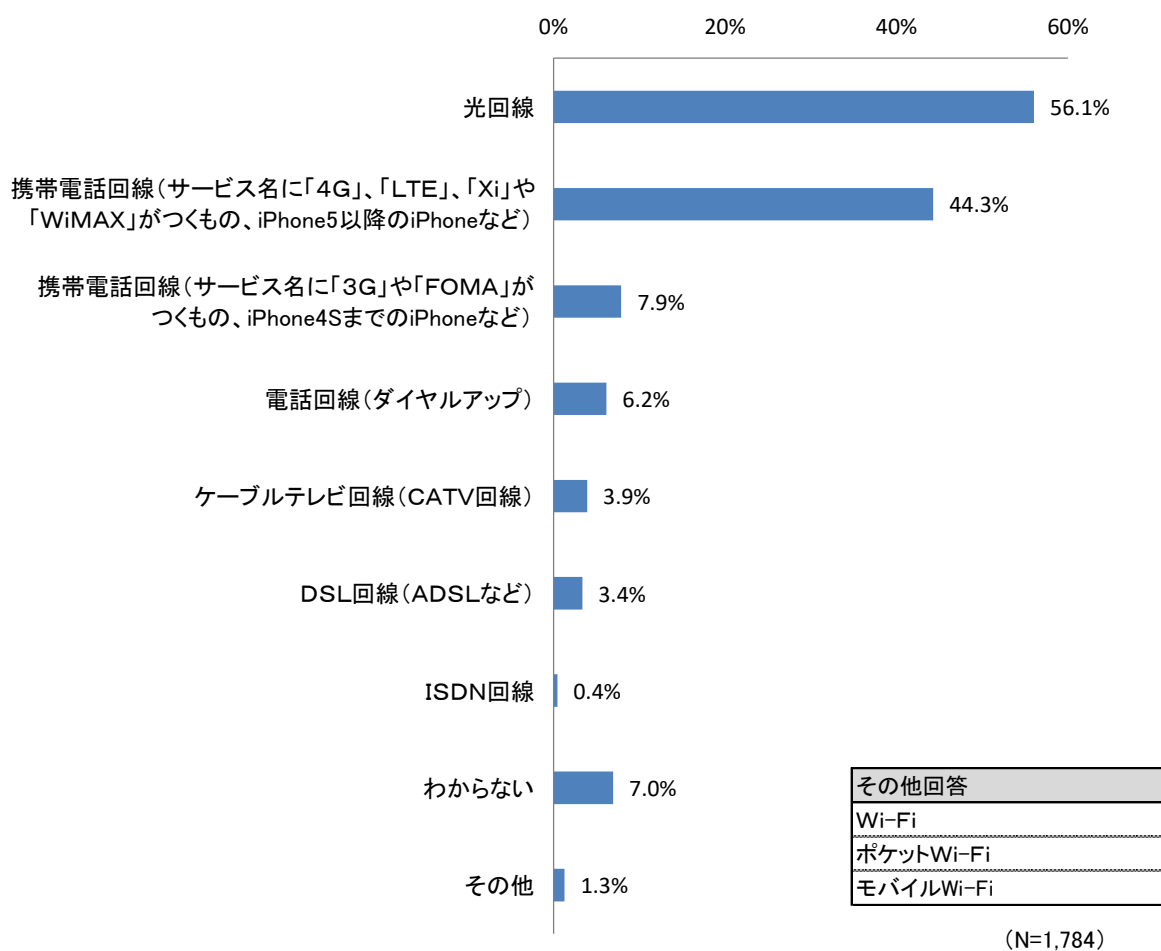
※比較上の注意点
・前々回調査では「携帯電話」「PHS」が分かれていたため、値は合算値で表示(図表2-5)

(3) 自宅でのインターネット接続回線

問2(2). 「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

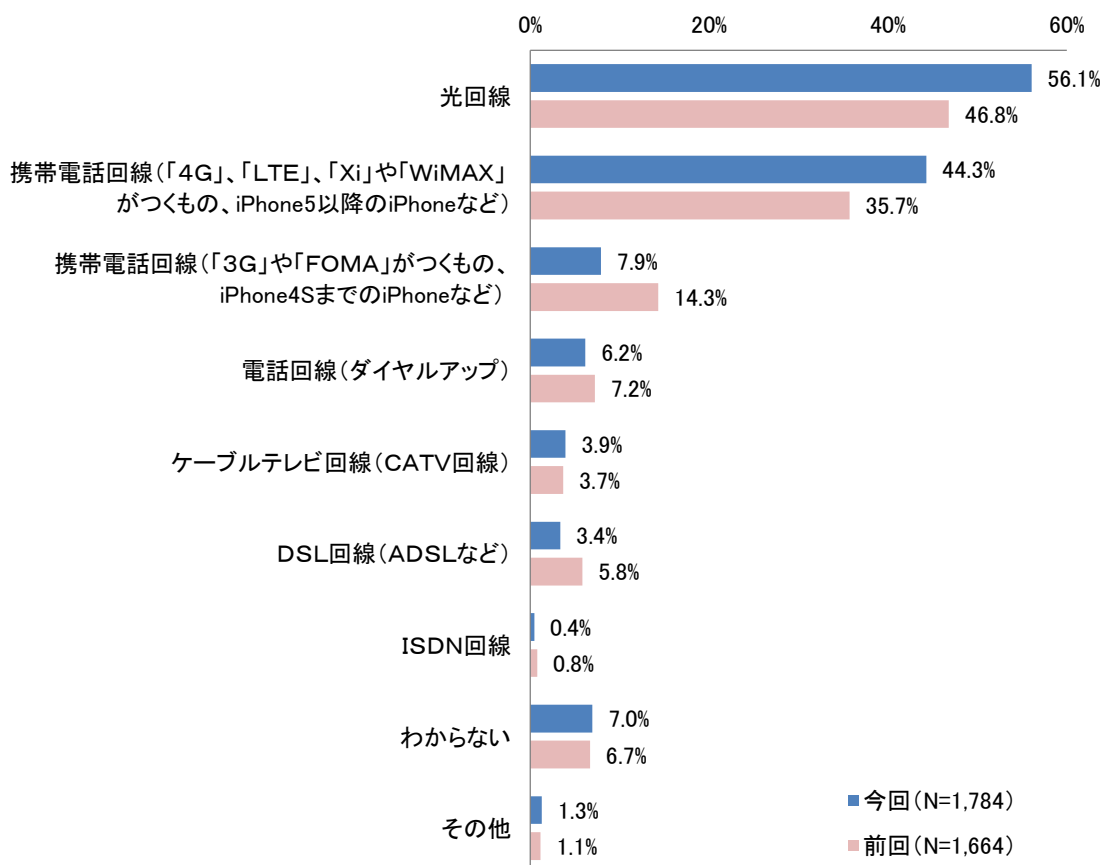
自宅でのインターネット接続回線については、「光回線」が56.1%と最も多く、次いで「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」が44.3%、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が7.9%となっている。（図表2-6参照）

図表2-6 自宅でのインターネット接続回線



前回と比較すると、最も回答の多かった「光回線」は9.3ポイント、2番目に回答の多かった「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」は8.6ポイント増加している一方、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が6.4ポイント、「DSL回線（ADSLなど）」が2.4ポイント減少となっている。（図表2-7参照）

図表 2-7 自宅でのインターネット接続回線の比較

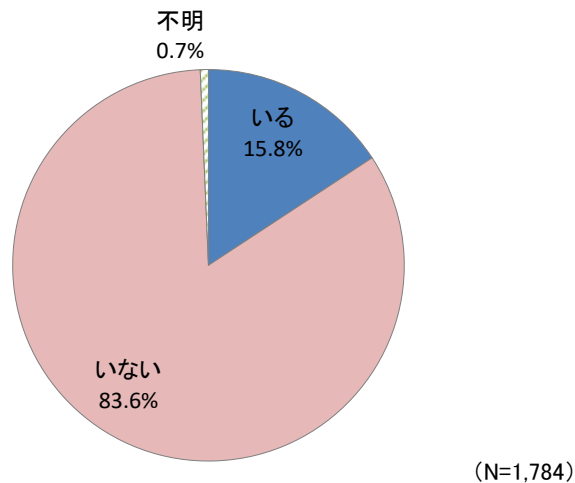


(4)小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況

問3(1). あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

小中学生の子どもについては、「いる」が15.8%、「いない」が83.6%となっている。(図表2-8参照)

図表2-8 小中学生の子どもの有無



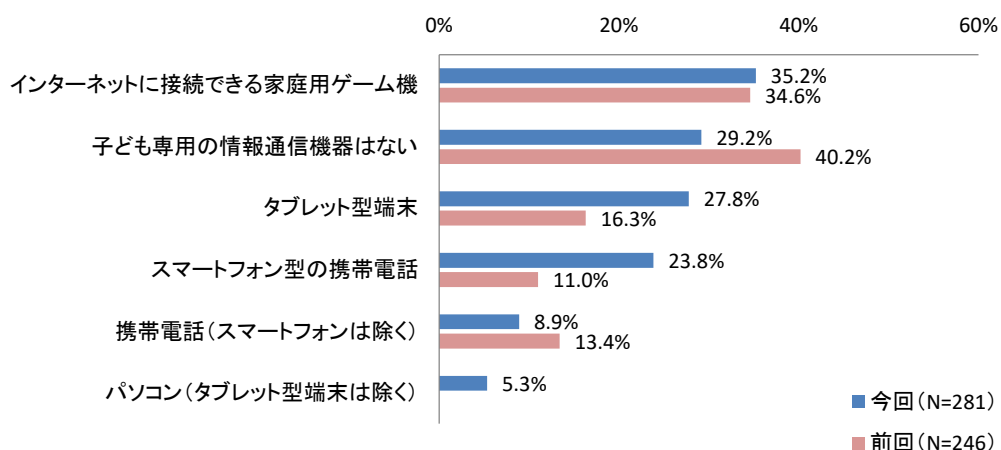
問3(2). 問3(1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

子ども専用のタブレット型端末等があるかについては、「インターネットに接続できる家庭用ゲーム機」が35.2%と最も多く、次いで「子ども専用の情報通信機器はない」が29.2%、「タブレット型端末」が27.8%となっている。

前回との比較では、「スマートフォン型の携帯電話」が12.8ポイント、「タブレット型端末」が11.5ポイント増加している一方、「子ども専用の情報通信機器はない」が11.0ポイント、「携帯電話(スマートフォンは除く)」が4.5ポイント減少している。(図表2-9参照)

図表2-9 子ども専用のタブレット型端末等の保有状況



※比較上の注意点

・ 前回調査では「パソコン(タブレット型端末は除く)」は選択肢になかった(図表2-9)

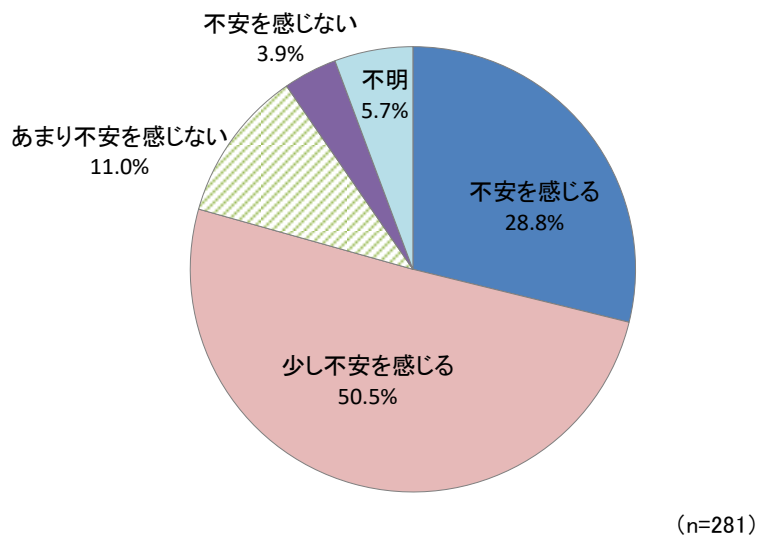
問3 (3). 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

小中学生の子どもが専用のタブレット型端末、携帯電話、スマートフォン、インターネットに接続できる家庭用ゲーム機を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

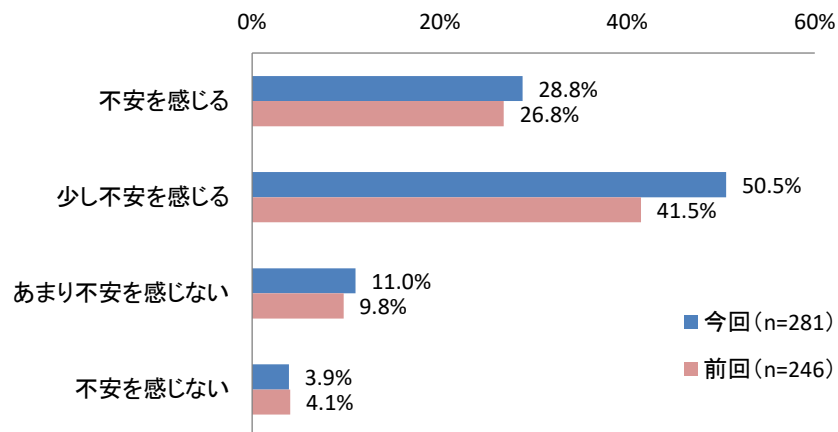
子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに不安を感じるかについては、「少し不安を感じる」が50.5%と最も多く、次いで「不安を感じる」が28.8%、「あまり不安を感じない」が11.0%となっている。「不安を感じる」「少し不安を感じる」の割合は79.3%を占めており、機器を保有することを多くの親が不安に感じている。(図表2-10 参照)

前回との比較では、「少し不安を感じる」と回答した世帯が9.0ポイント増加している。(図表2-11 参照)

図表2-10 子ども専用のタブレット型端末等の保有に対する不安感



図表2-11 子ども専用のタブレット型端末等の保有に対する不安感 (前回調査との比較)



3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

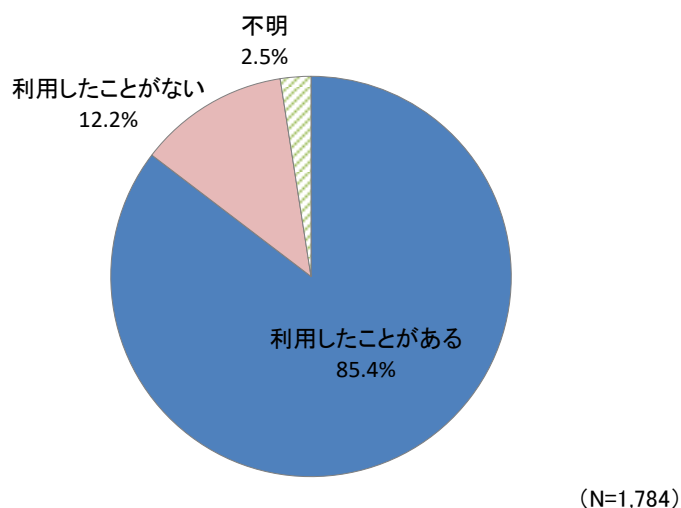
(1)個人でのインターネット利用状況

問4. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

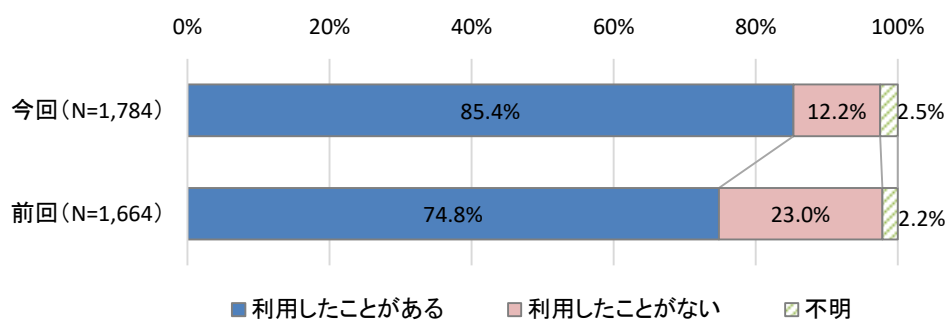
個人でのインターネット利用状況については、「利用したことがある」が85.4%、「利用したことがない」が12.2%となっている。（図表3-1参照）

前回との比較では、インターネットを「利用したことがない」が10.8ポイント減少している。（図表3-2参照）

図表3-1 インターネット利用状況（個人）

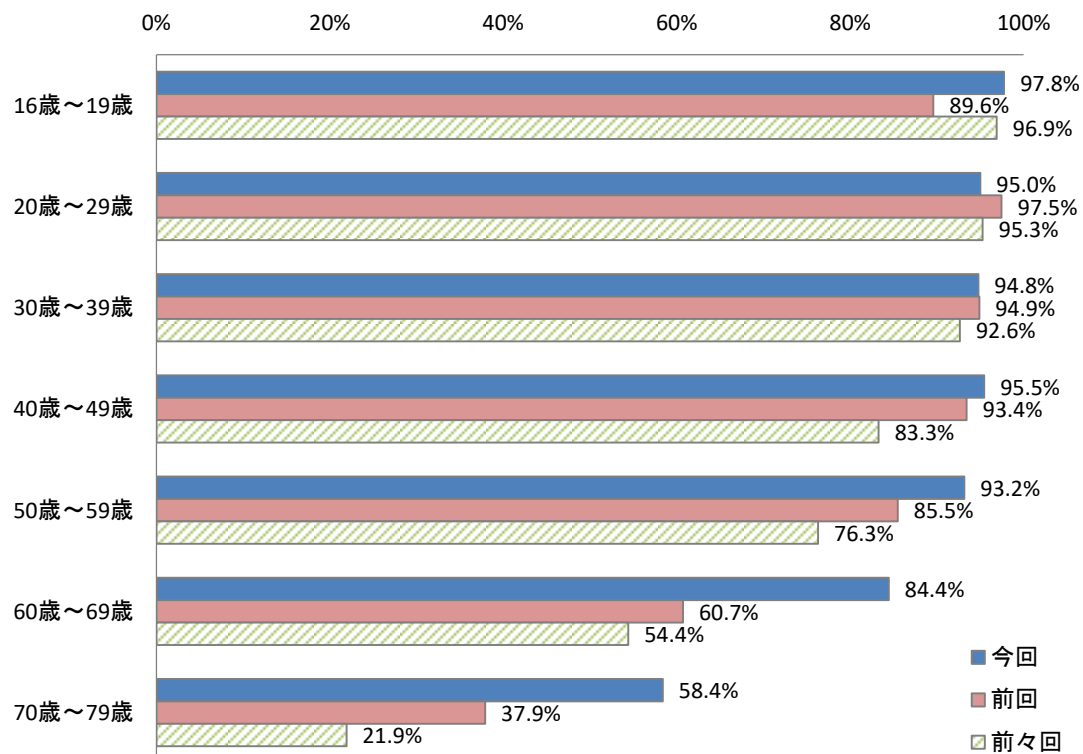


図表3-2 インターネット利用状況（個人）（前回調査との比較）



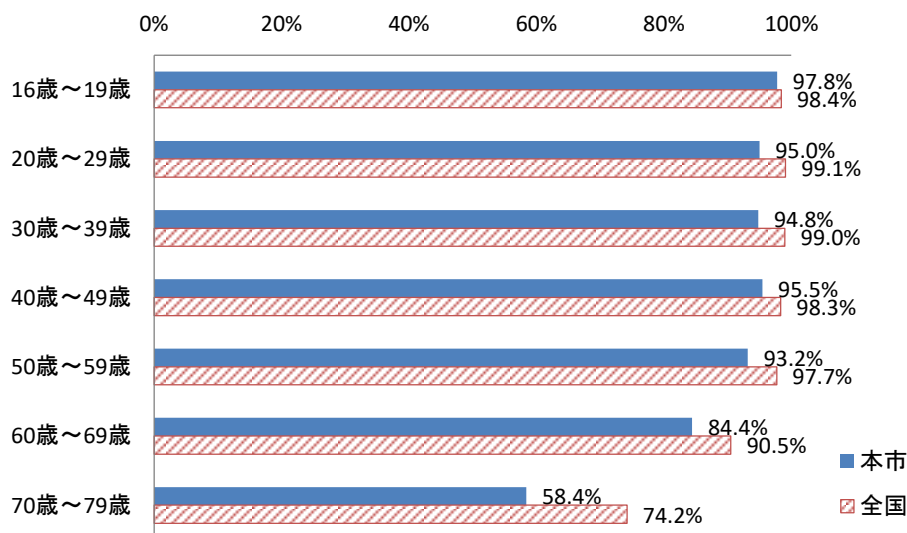
年齢階層別のインターネット利用状況の推移について、前回と比較すると、「60歳～69歳」が23.7ポイント、「70歳～79歳」が20.5ポイントとそれぞれ20ポイント以上増加している。（図表3-3参照）

図表3-3 年齢階層別のインターネット利用状況（個人）の推移



年齢階層別に全国平均と比較すると、全ての年代において全国平均を下回っており、70代においては15.8ポイント下回っている。(図表3-4参照)

図表3-4 年齢階層別のインターネット利用状況（個人）（本調査と全国平均との比較）



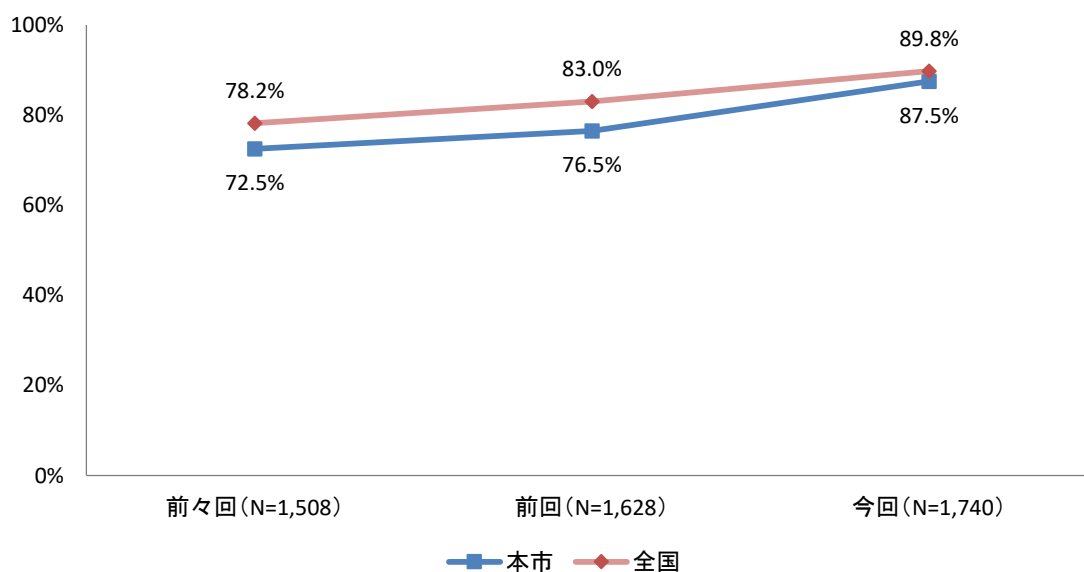
※比較上の注意点

全国の「16～19歳」は「13～19歳」の数値を表記している（図表3-4）

個人でのインターネット利用状況の推移については、前回と比較して11.0ポイント、前々回と比較して15.0ポイント増加している。

また、全国平均と比較すると、2.3ポイント下回っている。(図表3-5参照)

図表3-5 インターネット利用状況（個人）の推移（本調査と全国平均との比較）



※比較上の注意点

全国値が無回答を除く値を用いているため、本市の値も無回答を除いている。(図表3-5)

(2)インターネットの利用機器

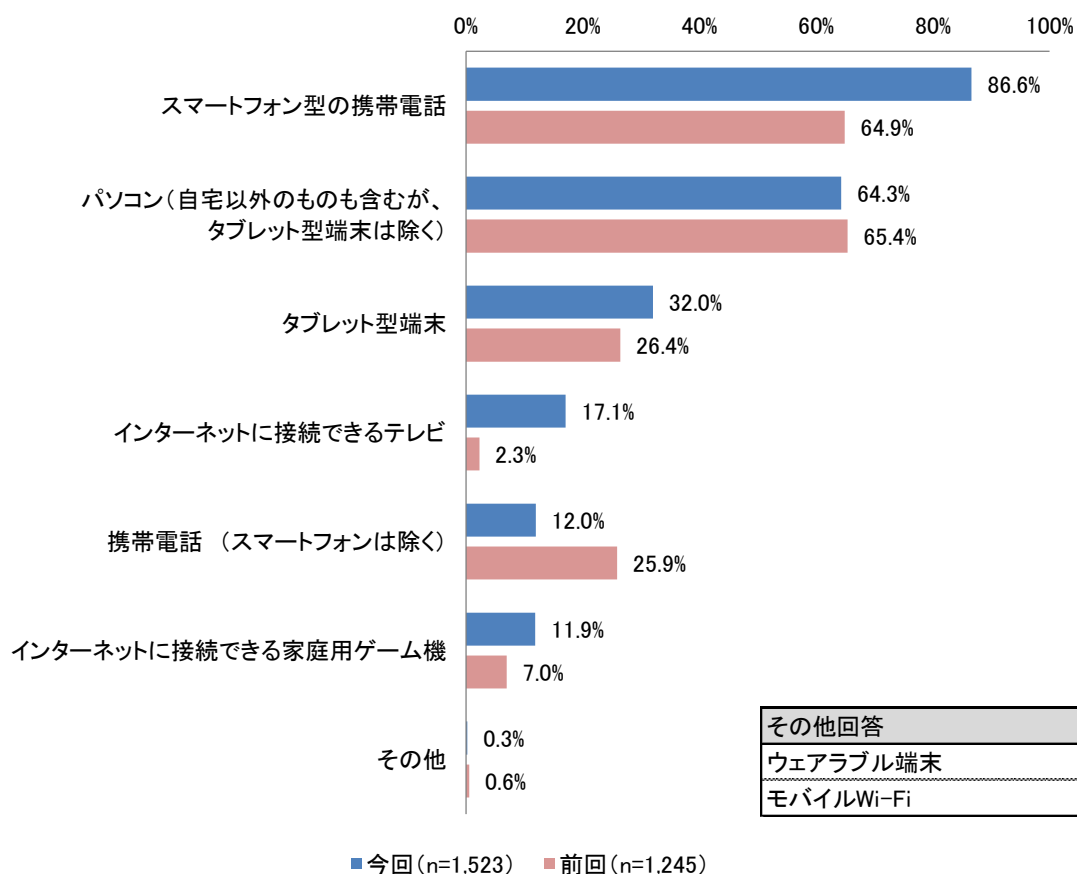
問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットで利用した機器については、「スマートフォン型の携帯電話」が86.6%と最も多く、次いで「パソコン(自宅以外のもも含むが、タブレット型端末は除く)」が64.3%、「タブレット型端末」が32.0%、「インターネットに接続できるテレビ」が17.1%となっている。

前回と比較すると、「スマートフォン型の携帯電話」が21.7ポイント、「タブレット型端末」が5.6ポイント、「インターネットに接続できるテレビ」が14.8ポイント増加している一方、「携帯電話(スマートフォンは除く)」は13.9ポイント減少している。(図表3-6参照)

図表 3-6 インターネットの利用機器



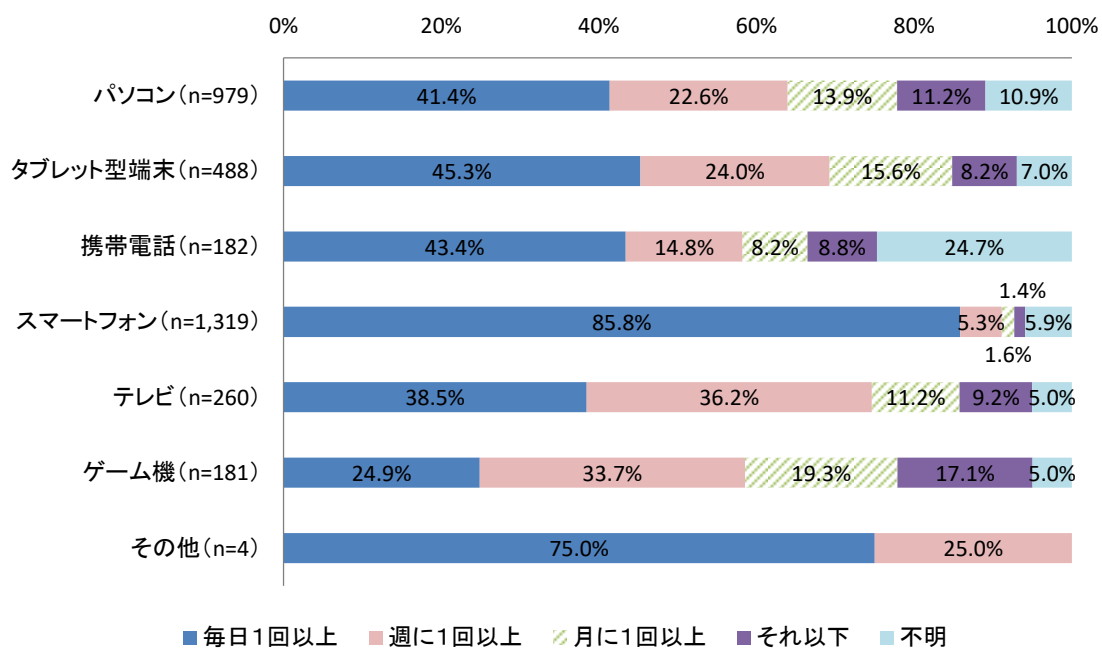
(3)インターネットの利用頻度

問5(2). インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

利用機器別のインターネット利用頻度については、「毎日1回以上」と回答した人は、「スマートフォン」で85.8%となっており、他に比べて大きな割合を占めている。「週に1回以上」の回答者を加えると、約9割が週に1回以上の頻度で利用している状況が伺える。

また、「スマートフォン」と「その他」以外では「毎日1回以上」の回答者はそれぞれ5割を下回っている。(図表3-7参照)

図表3-7 利用機器別のインターネット利用頻度

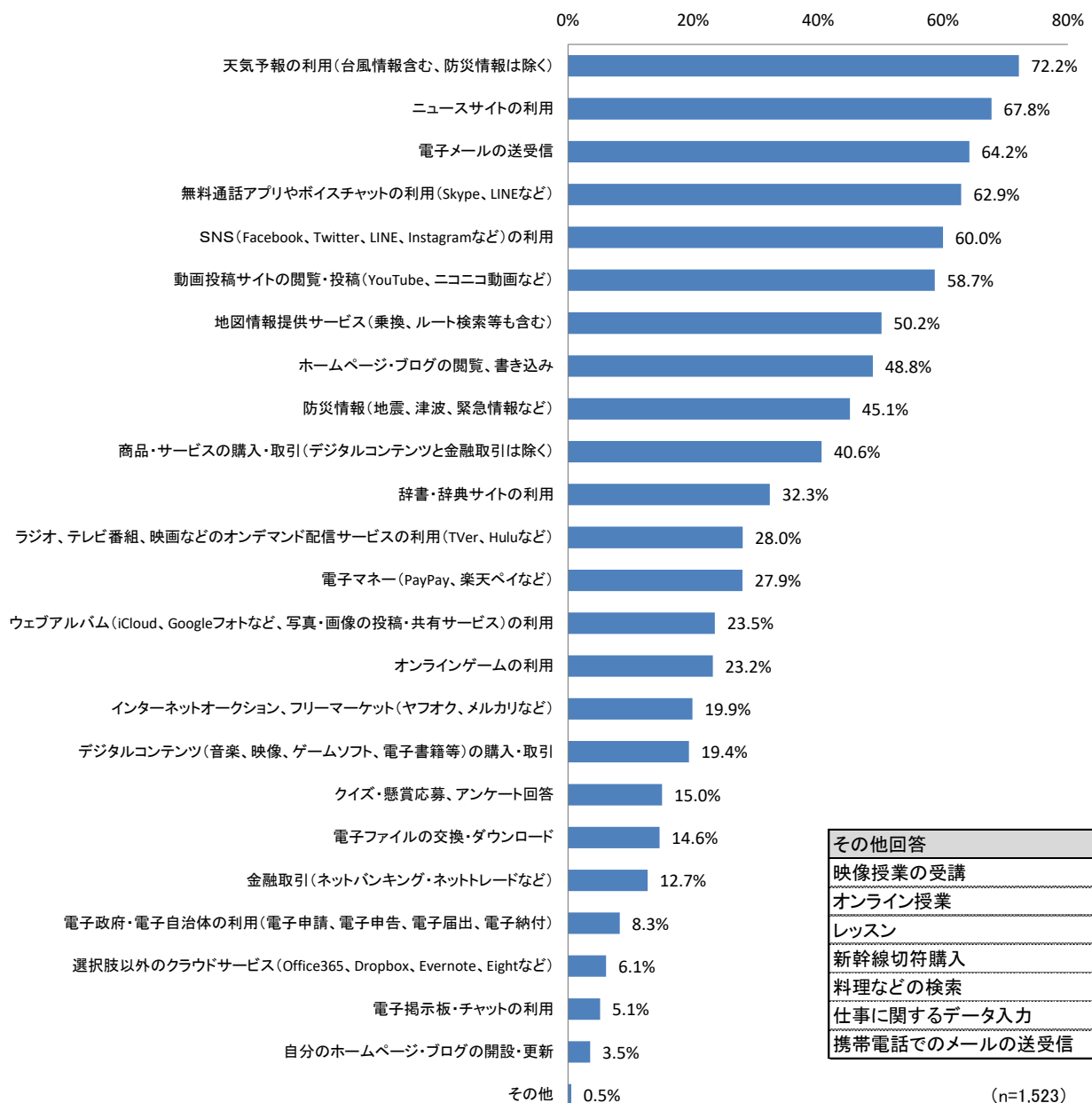


(4)インターネットで利用するサービス

問5(3). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットで利用するサービスについては、「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が72.2%と最も多く、次いで「ニュースサイトの利用」が67.8%、「電子メールの送受信」が64.2%、「無料通話アプリやボイスチャットの利用（Skype、LINEなど）」が62.9%となっている。（図表3-8参照）

図表3-8 インターネットで利用するサービス



年齢階層別にみると、10代～30代では「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」、40代～70代では「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が最も多くなっている。（図表3-9参照）

図表3-9 年齢階層別のインターネットで利用するサービス

		1位	2位		
10代	SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど)の利用	85.1%	無料通話アプリやボイスチャットの利用(Skype、LINEなど)	83.9%	
20代			動画投稿サイトの閲覧・投稿 (YouTube、ニコニコ動画など)	85.7%	
30代				78.0%	
40代				75.1%	
50代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	78.4%	ニュースサイトの利用	77.3%	
60代				72.8%	65.3%
70代				61.4%	電子メールの送受信

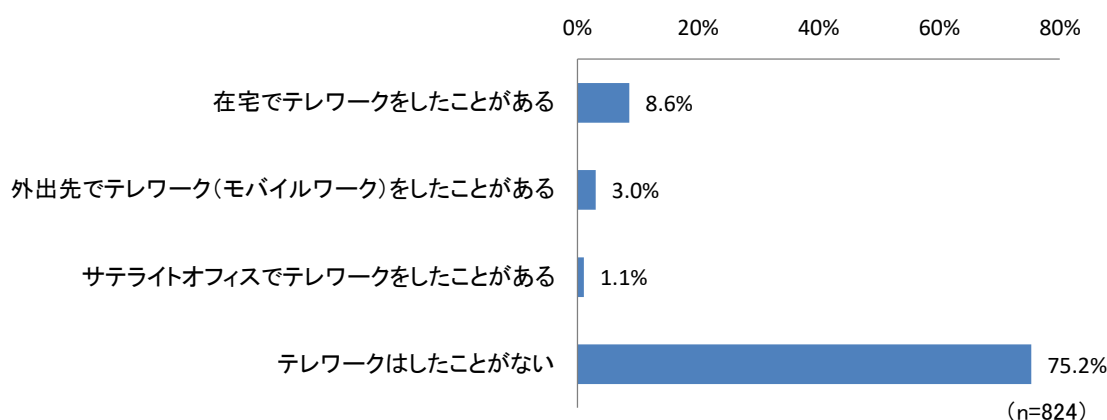
(5)テレワークの実施状況

問5 (4). 企業など（公的機関、団体を含む）に勤めている方（個人事業主は除く）におたずねします。

過去1年間に、インターネットを利用してテレワークをしたことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットを利用したテレワークの実施状況については、「テレワークはしたことがない」が75.2%と最も多く、次いで「在宅でテレワークをしたことがある」が8.6%、「外出先でテレワーク（モバイルワーク）をしたことがある」が3.0%、「サテライトオフィスでテレワークをしたことがある」が1.1%となっている。（図表3-10 参照）

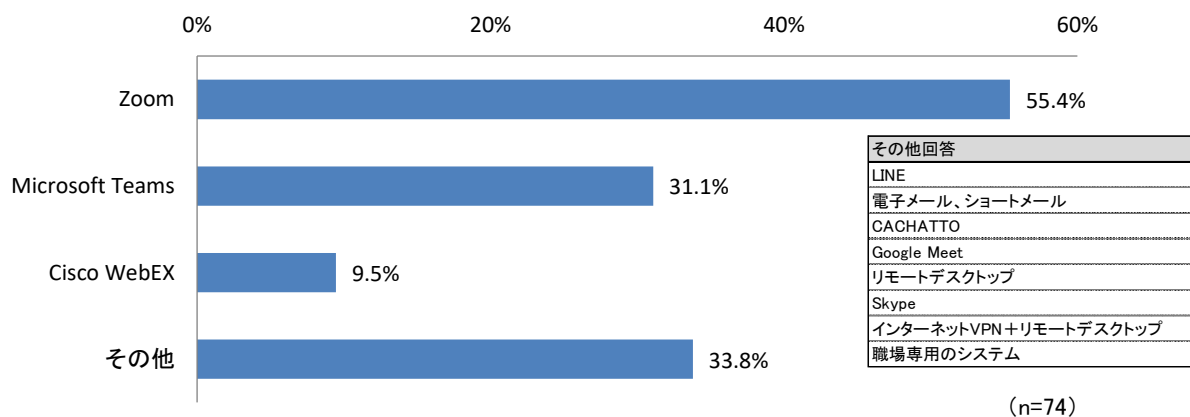
図表 3-10 テレワークの実施状況



問5 (5). 上記、問5 (4)で「4. テレワークはしたことがない」以外（1～3）を選んだ方におたずねします。テレワークやモバイルワークをされた際に、どのようなインターネットのサービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

テレワークをしたことがある人の、利用したインターネットサービスについては、「ZOOM」が55.4%と最も多く、次いで「Microsoft Teams」が31.1%、「Cisco WebEX」が9.5%となっている。（図表3-11 参照）

図表 3-11 テレワークの際の利用サービス



(6)インターネットの利用意向

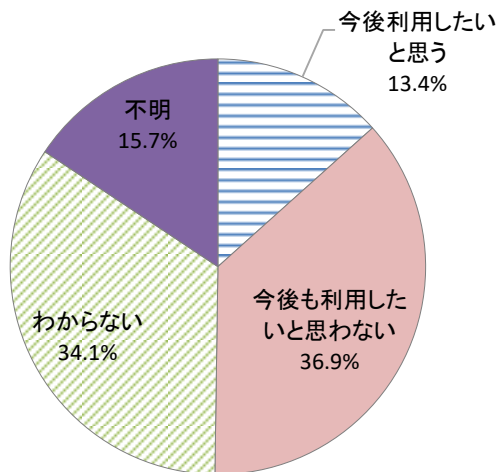
問5 (6). 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。＜単一回答＞

今後インターネットを利用したいかについては、インターネット非利用者において、「今後利用したいと思う」が13.4%、「今後も利用したいと思わない」が36.9%で「今後利用したいと思う」を23.5ポイント上回った。(図表3-12 参照)

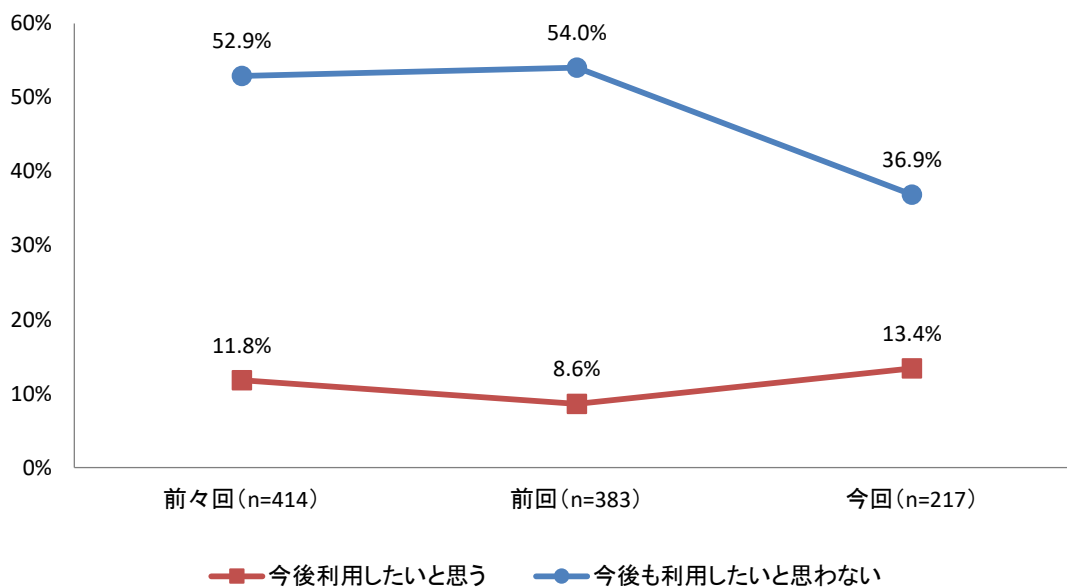
前回は「今後利用したいと思う」の割合は3.2ポイント減少、「今後も利用したいと思わない」の割合は1.1ポイント増加であったが、今回は、逆に「今後利用したいと思う」の割合は4.8ポイント増加、「今後も利用したいと思わない」の割合は17.1ポイント減少している。(図表3-13 参照)

図表 3-12 インターネットの利用意向



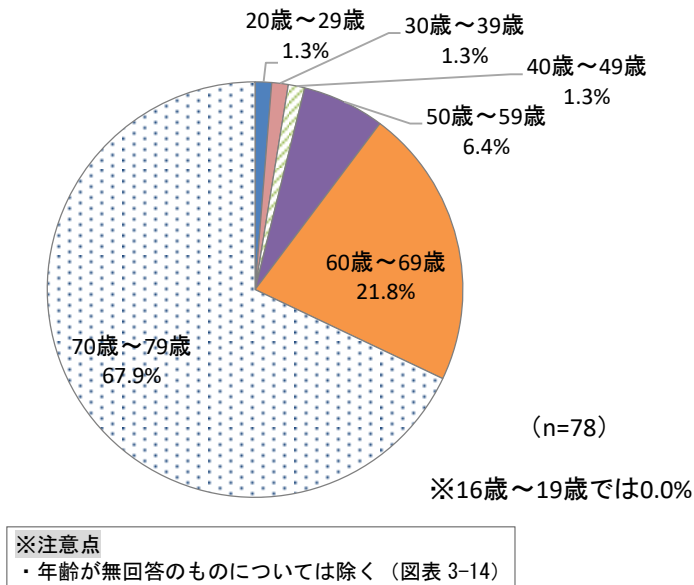
(n=217)

図表 3-13 インターネットの利用意向の推移



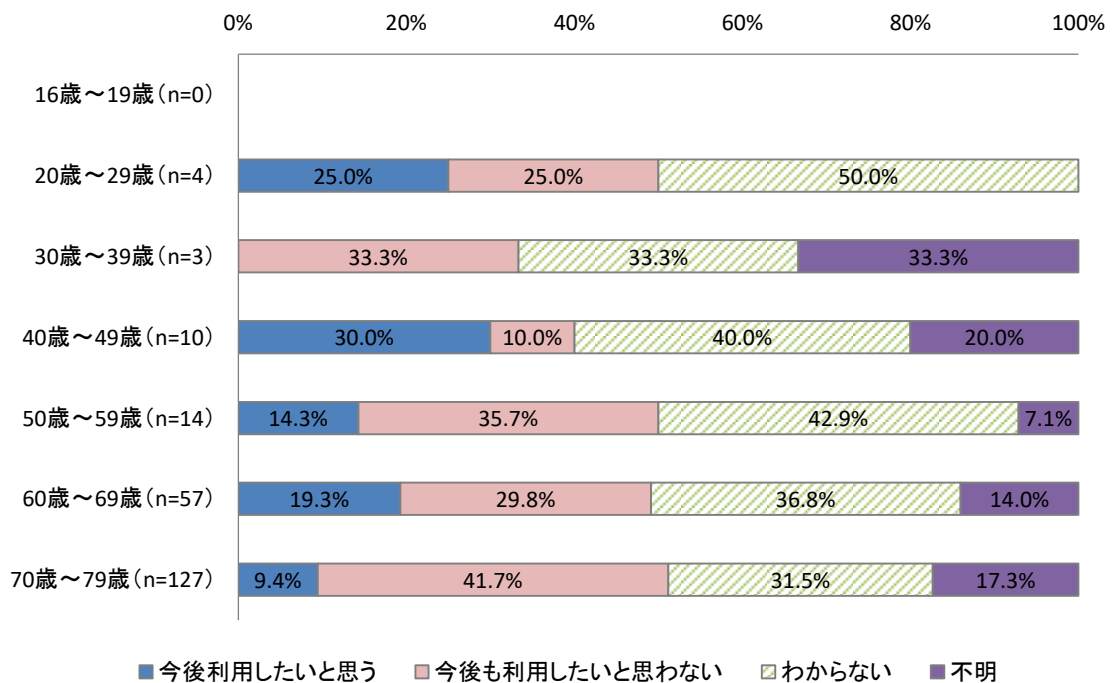
「今後も利用したいと思わない」と回答の年齢構成は、「70歳～79歳」が67.9%、「60歳～69歳」が21.8%と、60歳以上が89.7%を占めている。(図表3-14参照)

図表3-14 「今後も利用したいと思わない」と回答の年齢構成



年齢階層別にみると、「今後も利用したいと思わない」の割合は、70歳～79歳において41.7%となっている。(図表3-15参照)

図表3-15 年齢階層別のインターネットの利用意向



(7)インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由

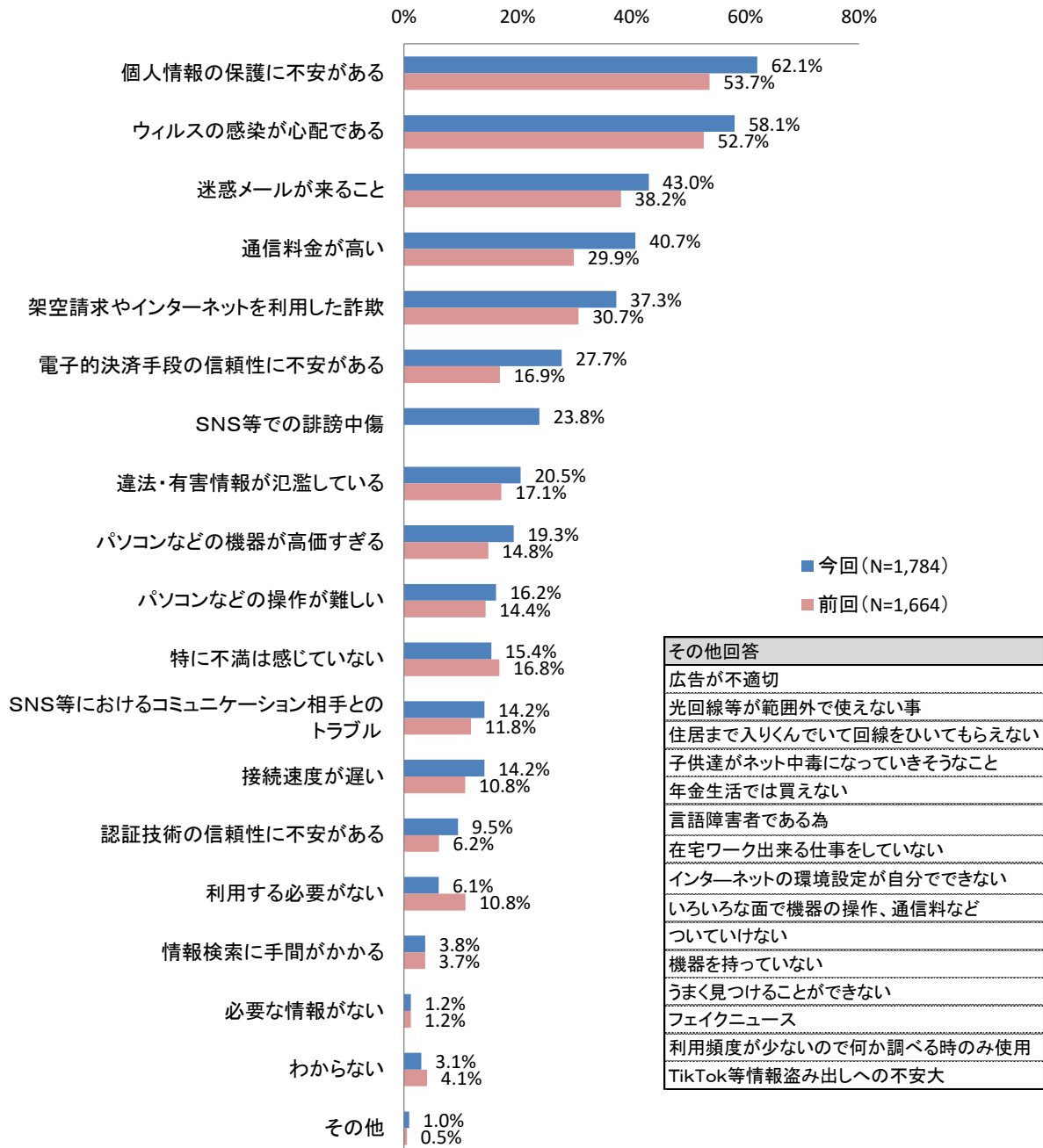
問6. すべての方におたずねします。

現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由については、「個人情報の保護に不安がある」が62.1%と最も多く、次いで「ウィルスの感染が心配である」が58.1%、「迷惑メールが来ること」が43.0%となっている。

前回と比較すると、「個人情報の保護に不安がある」が8.4ポイントの増加、「ウィルスの感染が心配である」が5.4ポイントの増加、「迷惑メールが来ること」が4.8ポイントの増加となっている。(図表3-16参照)

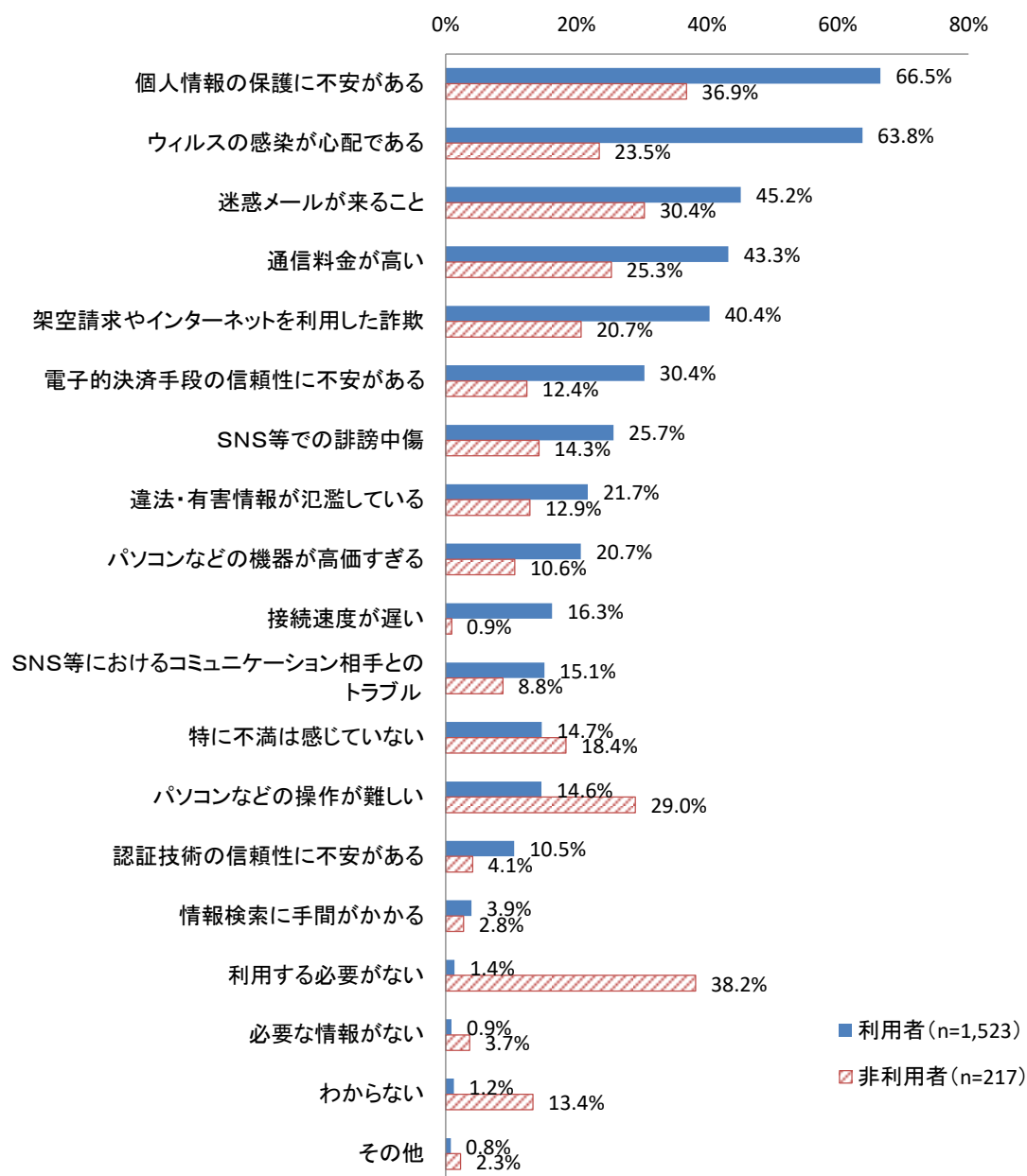
図表3-16 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由



インターネット利用者において、インターネットを利用して感じる不安や不満については、「個人情報の保護に不安がある」が66.5%と最も多く、次いで「ウィルスの感染が心配である」が63.8%、「迷惑メールが来ること」が45.2%となっている。

一方、インターネット非利用者において、インターネットを利用しない理由については、「利用する必要がない」が38.2%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が36.9%、「迷惑メールが来ること」が30.4%となっている。(図表3-17参照)

図表3-17 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由の比較



年齢階層別にみると、各年代において、「個人情報の保護に不安がある」、「ウイルスの感染が心配である」といった、情報セキュリティに関する不安や不満が上位を占めている。(図表 3-18 参照)

図表 3-18 年齢階層別のインターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由

	1 位		2 位	
10 代	ウイルスの感染が心配である	49.4%	個人情報の保護に不安がある	44.9%
20 代	個人情報の保護に不安がある	57.1%	ウイルスの感染が心配である	53.6%
30 代	ウイルスの感染が心配である	69.2%	個人情報の保護に不安がある	66.8%
40 代	個人情報の保護に不安がある	74.8%	ウイルスの感染が心配である	68.5%
50 代		74.3%		70.0%
60 代		62.5%		58.7%
70 代		43.9%		36.4%

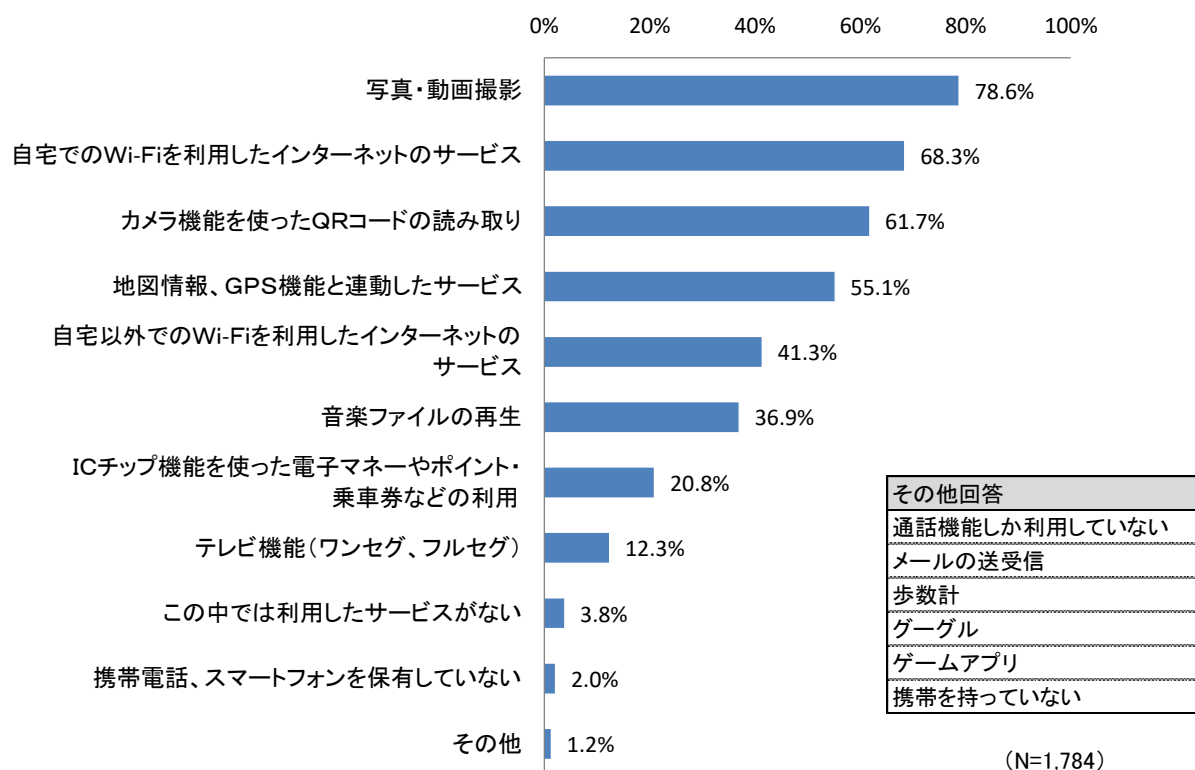
(8)携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス

問7. すべての方におたずねします。

あなたは、過去1年間に携帯電話又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

利用した機能・サービスについては、「写真・動画撮影」が78.6%と最も多く、次いで「自宅でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス」が68.3%、「カメラ機能を使ったQRコードの読み取り」が61.7%、「地図情報、GPS機能と連動したサービス」が55.1%となっている。(図表3-19参照)

図表3-19 携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス



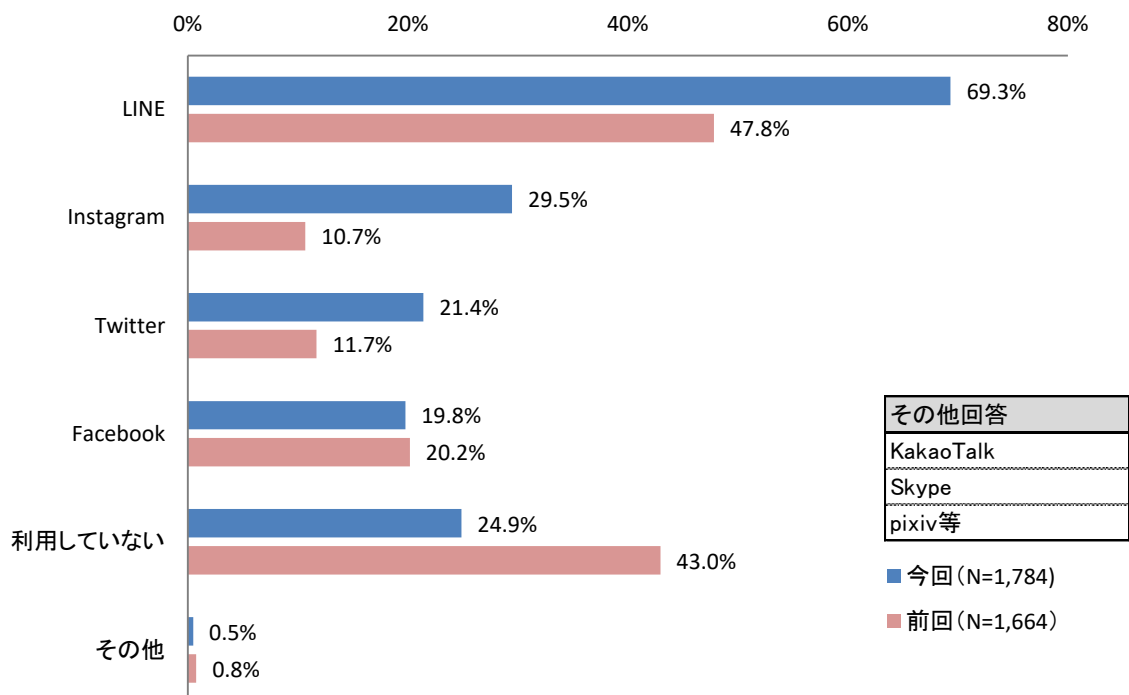
(9)利用したSNS

問8(1). あなたは、過去1年間にSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

利用したSNSについては、「LINE」が69.3%と最も多く、次いで「Instagram」が29.5%、「Twitter」が21.4%となっている。また、「利用していない」は24.9%となっている。

前回調査と比較すると、「LINE」が21.5ポイント、「Instagram」が18.8ポイントと大幅に増加しており、「利用していない」が18.1ポイント減少している。(図表3-20参照)

図表 3-20 利用したSNS

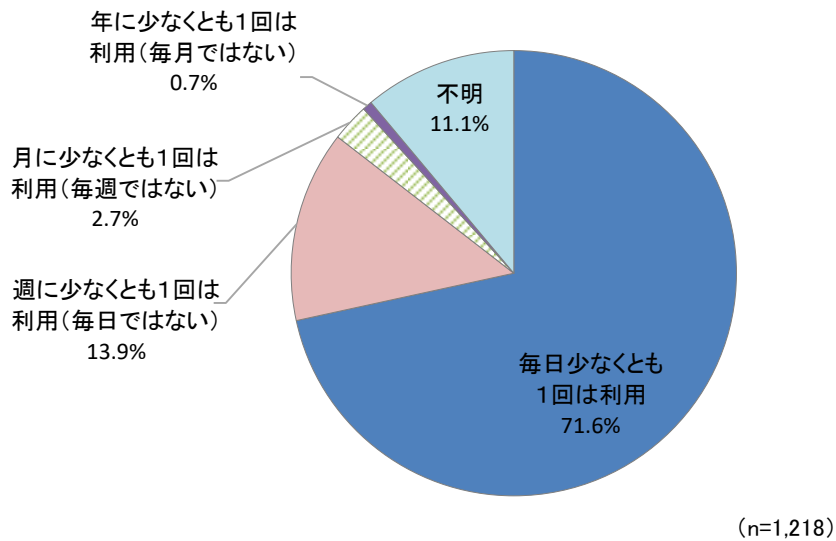


(10) SNSを利用する頻度

問8(2). あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

SNSを利用する頻度については、「毎日少なくとも1回は利用」が71.6%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回は利用(毎日ではない)」が13.9%、「月に少なくとも1回は利用(毎週ではない)」が2.7%となっている。(図表3-21参照)

図表3-21 SNSを利用する頻度



4. 鹿児島市が発信する行政情報

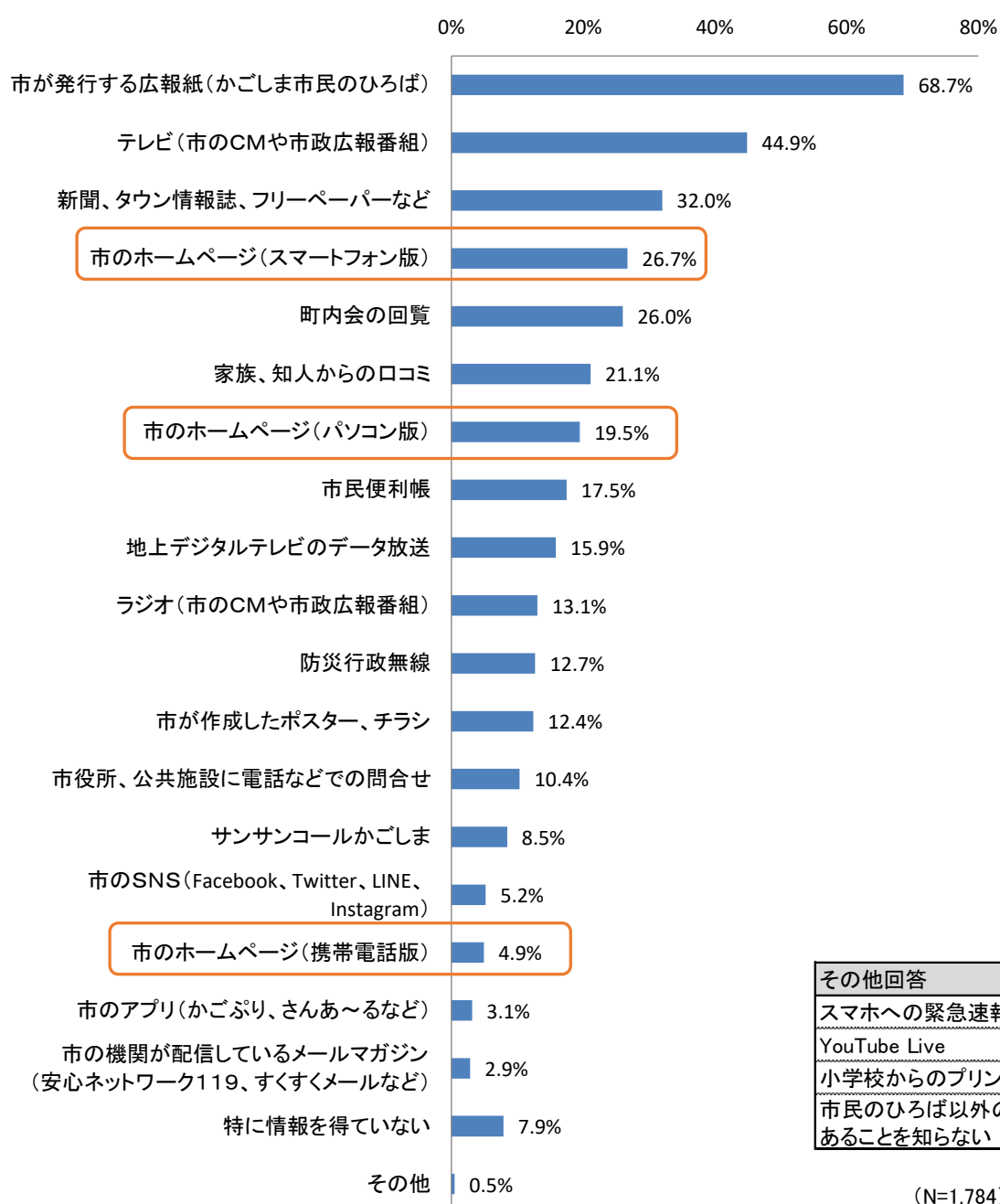
(1) 行政情報の入手方法

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法については、「市が発行する広報紙（かごしま市民のひろば）」が68.7%と最も多く、次いで「テレビ（市のCMや市政広報番組）」が44.9%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が32.0%となっている。

なお、「市のホームページ」の利用者については、スマートフォン版、パソコン版、携帯電話版をあわせて51.1%となっている。（図表4-1 参照）

図表 4-1 行政情報の入手方法



その他回答
スマホへの緊急速報
YouTube Live
小学校からのプリント
市民のひろば以外の方法があることを知らない

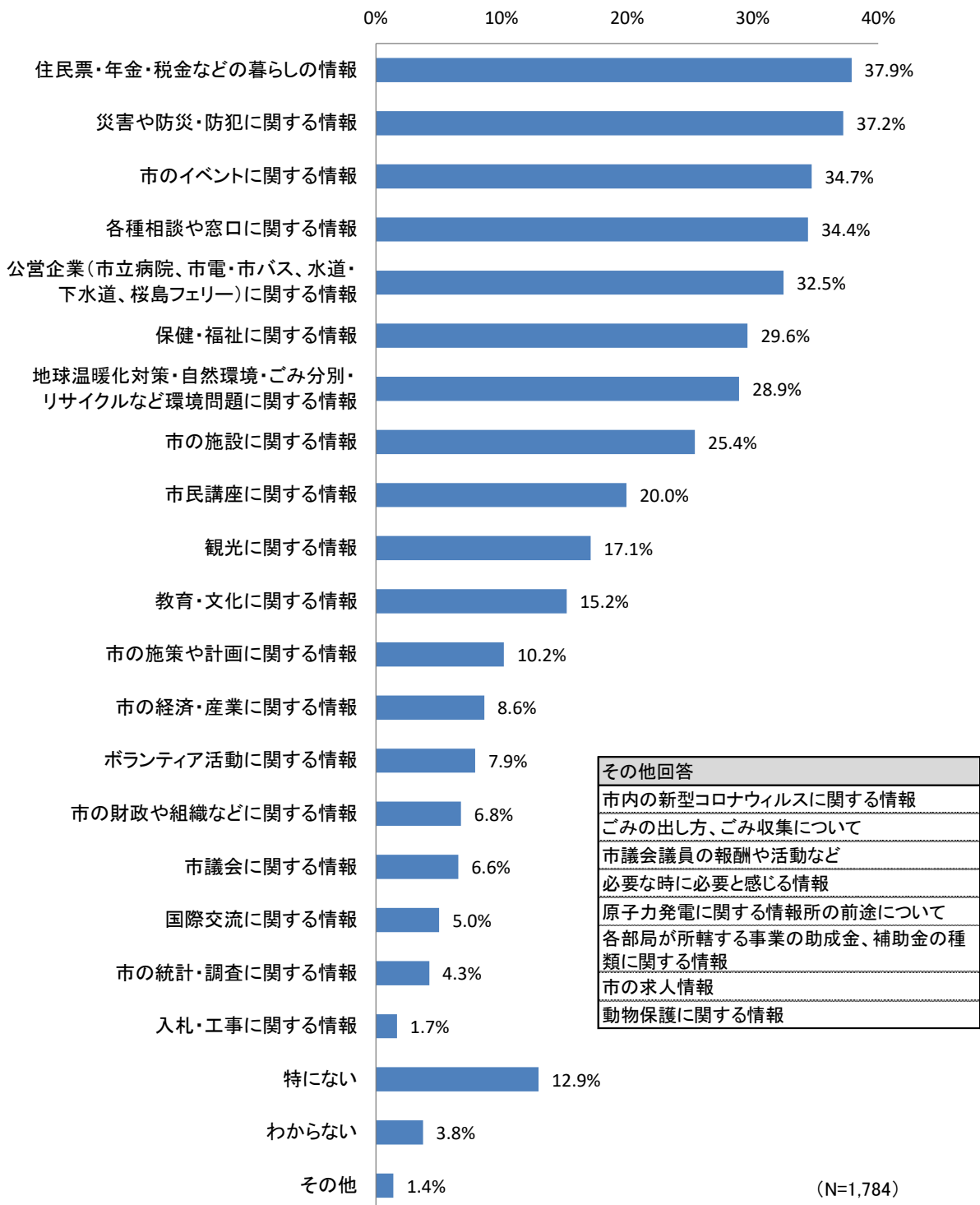
(N=1,784)

(2)必要としているまたは関心のある行政情報

問 10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

必要としている、または関心のある市の情報については、「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」が 37.9%と最も多く、次いで「災害や防災・防犯に関する情報」が 37.2%、「市のイベントに関する情報」が 34.7%、「各種相談や窓口に関する情報」が 34.4%となっている。(図表 4-2 参照)

図表 4-2 必要としているまたは関心のある行政情報



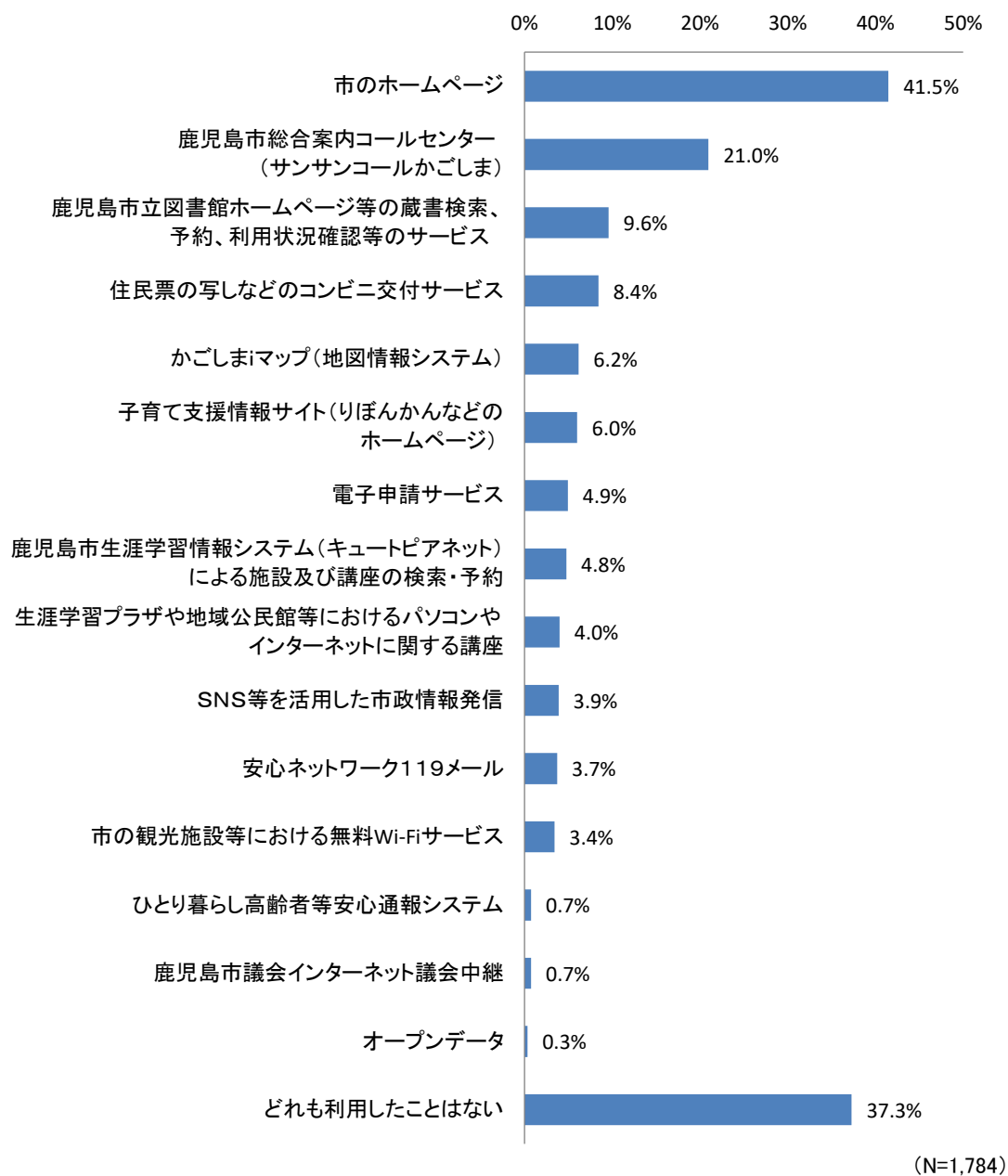
5. 鹿児島市が行う情報化への取組

(1) 情報化施策の利用状況

問 11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。 <複数回答>

情報化施策の利用状況については、「市のホームページ」が41.5%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が21.0%となっている。また、「どれも利用したことはない」は37.3%となっている。（図表 5-1 参照）

図表 5-1 情報化施策の利用状況



(2)情報化施策で効果を実感した状況

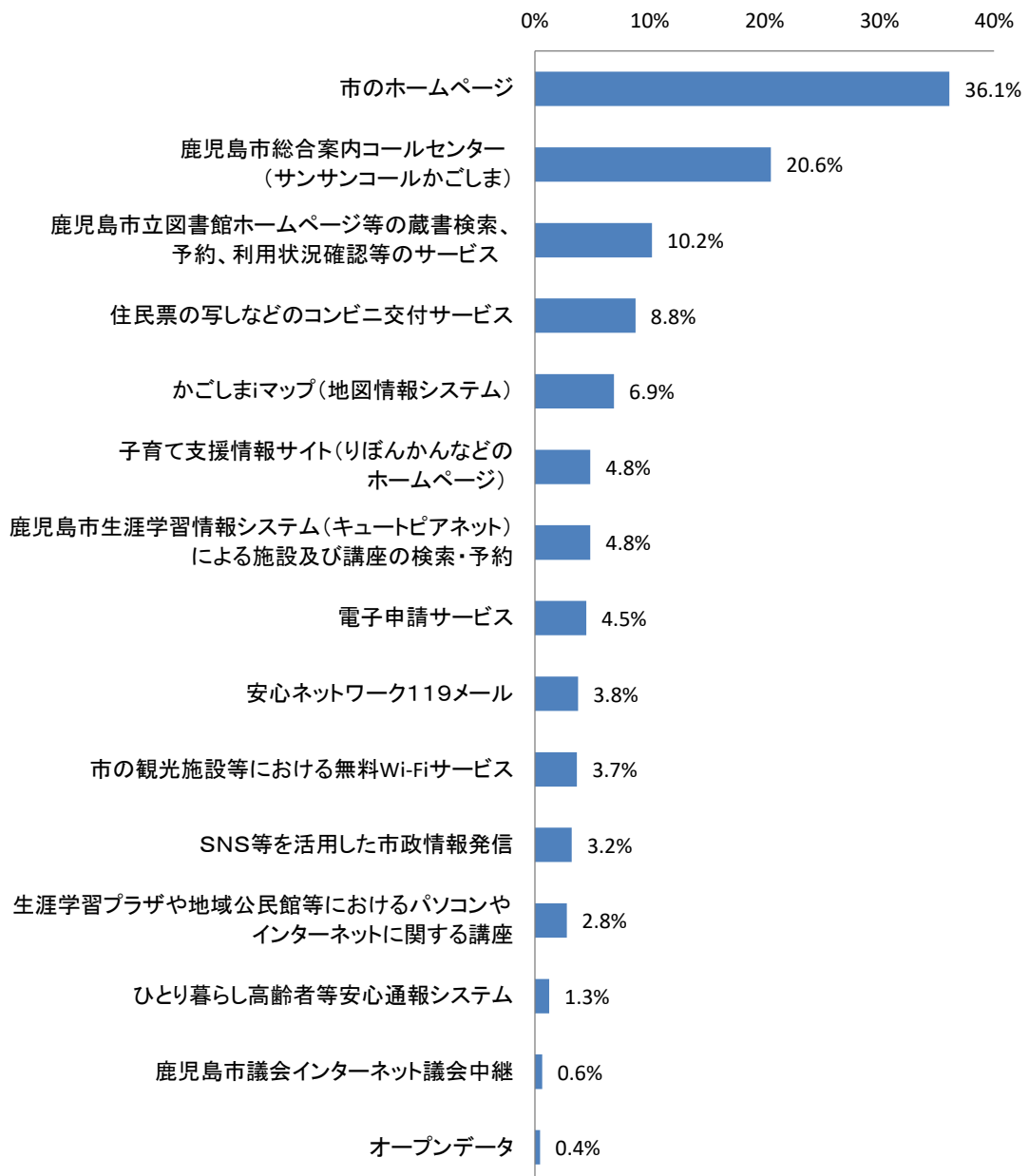
問 12. 問 11 で「16. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします。

あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化施策で効果が実感できたものについては、「市のホームページ」が 36.1%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター(サンサンコールかごしま)」が 20.6%となっている。(図表 5-2 参照)

利用状況の高い情報化施策について (P30 図表 5-1 参照)、効果が実感できた情報化施策も高い結果となっている。

図表 5-2 情報化施策で効果を実感した状況



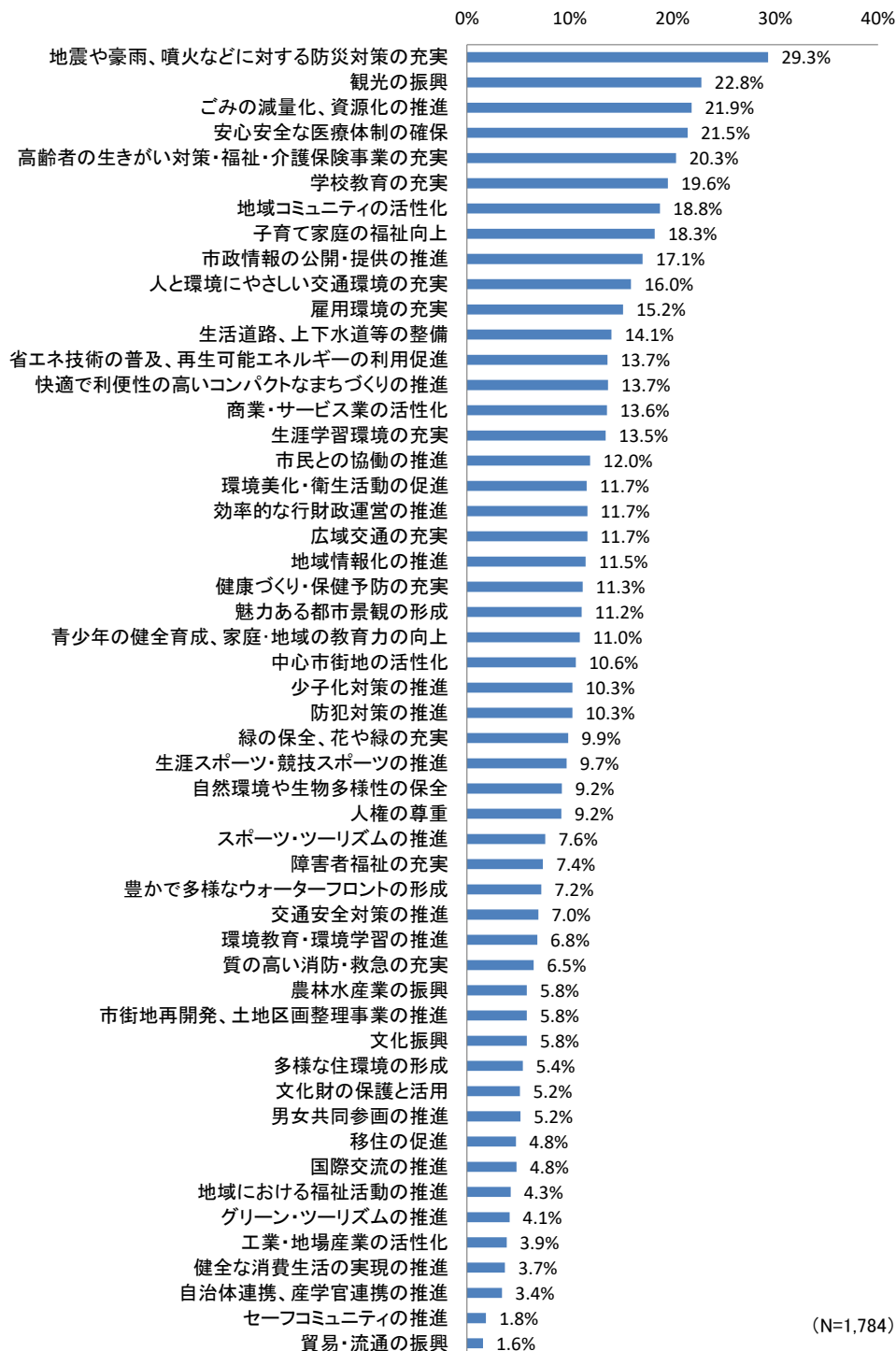
(n=1,119)

(3)情報化による市民サービスの利用意向

問 13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

情報通信技術を活用すべき施策については、「地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実」が29.3%と最も多く、次いで「観光の振興」が22.8%、「ごみの減量化、資源化の推進」が21.9%、「安全安心な医療体制の確保」が21.5%となっている。(図表 5-3 参照)

図表 5-3 情報化による市民サービスの利用意向



年齢階層別にみると、10代では「学校教育の充実」、20代・40代～60代では「地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実」、30代では「子育て家庭の福祉向上」、70代では「高齢者の生きがい対策・福祉介護保険事業の充実」が最も多くなっている。（図表 5-4 参照）

図表 5-4 年齢階層別の情報化による市民サービスの利用意向

	1位		2位	
10代	学校教育の充実	30.3%	観光の振興	22.5%
20代	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	28.6%		27.9%
30代	子育て家庭の福祉向上	46.0%	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	27.0%
40代		28.3%	学校教育の充実	27.3%
50代	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	35.2%	安心安全な医療体制の確保	24.8%
60代		31.1%	—	—
	高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実	31.1%		
70代	高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実	34.7%	ごみの減量化、資源化の推進	33.2%

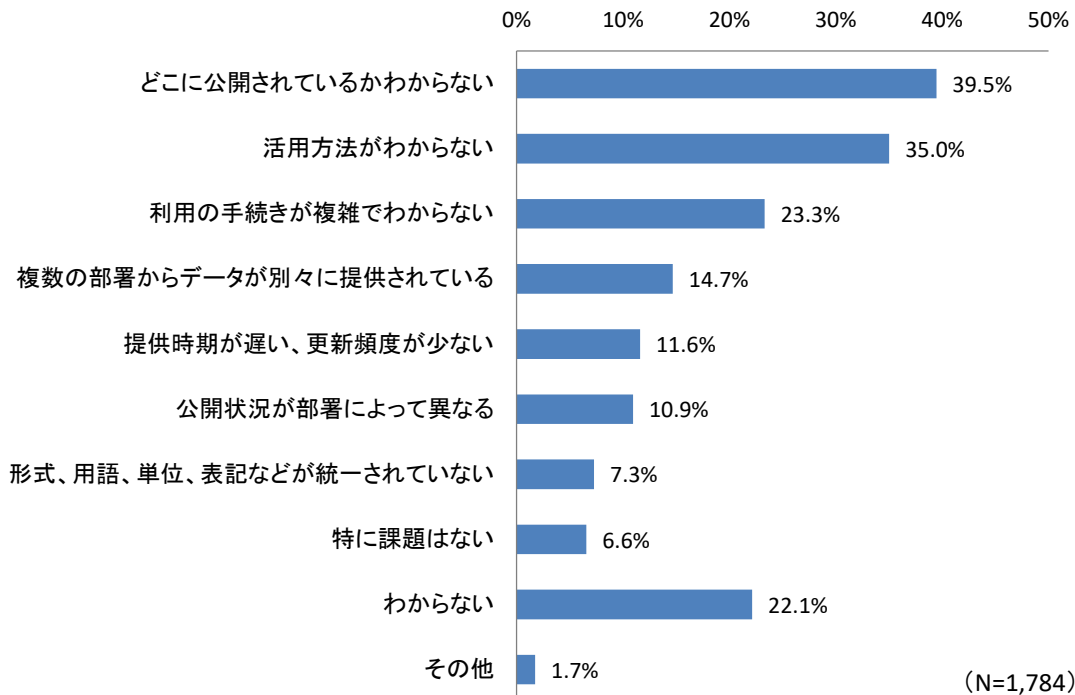
※注意点
・60代については1位が同数で2つあるため2位がなし（図表 3-14）

(4)行政情報を活用する際の課題

問 14. あなたは、鹿児島市の提供する情報など各種データを組み合わせて仕事や地域活性化に活用しようとする場合の課題は何だと思いますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

行政の提供する情報を仕事や地域活性化に活用する際の課題については、「どこに公開されているかわからない」が39.5%と最も多く、次いで「活用方法がわからない」が35.0%、「利用の手続きが複雑でわからない」が23.3%となっている。(図表 5-5 参照)

図表 5-5 行政情報を活用する際の課題

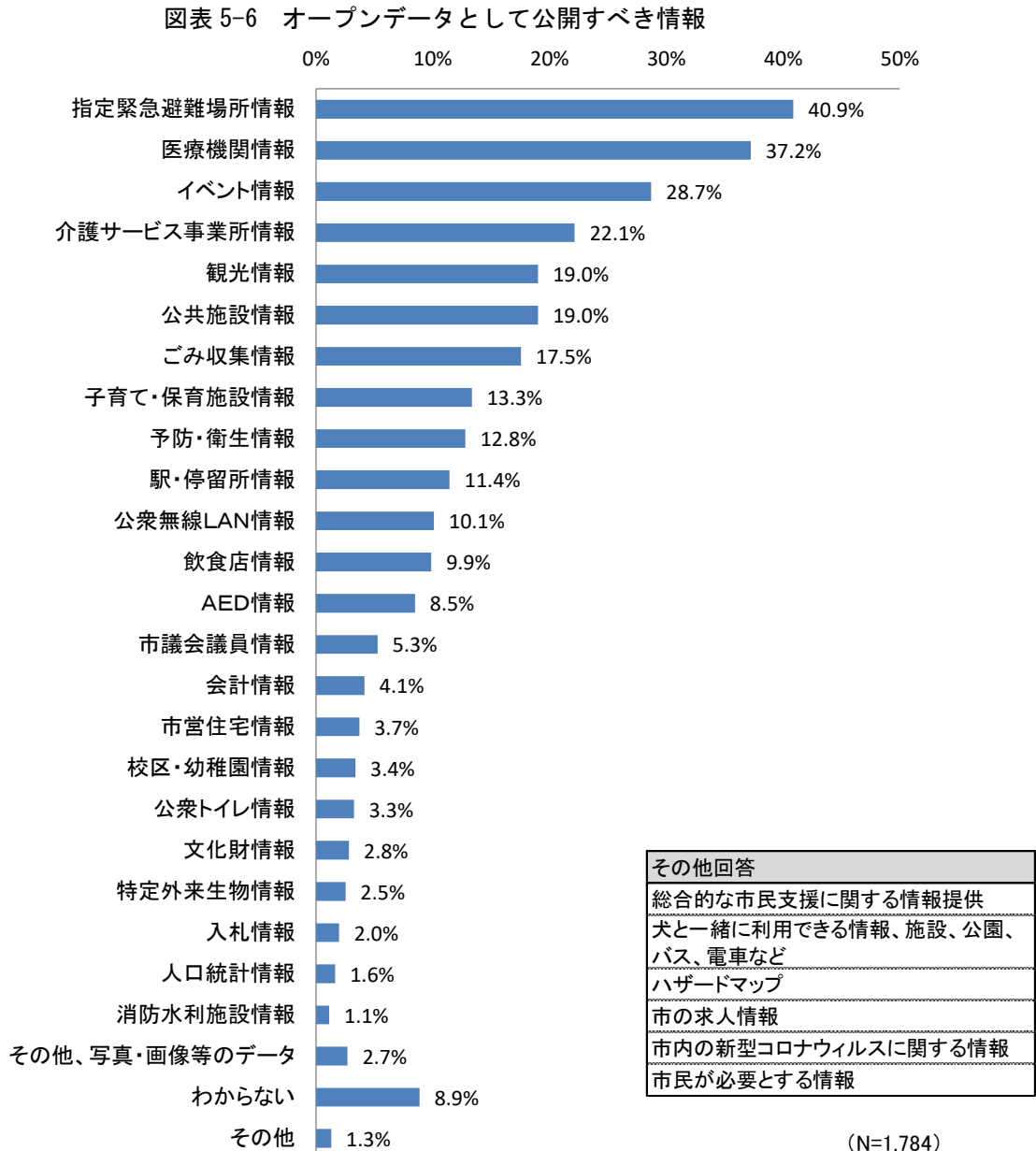


その他回答
知名度が低い
市民がわかりやすい語句を使う
部署名をわかりやすく、検索しやすくする
個人によってデータを取り扱うレベルに差がある
レイアウトがわかりにくい
言語の多言語化への取組
インターネット接続環境を増やす
セキュリティを守る事とデータを自由に利用することの矛盾性の解決
各個別の詳細な情報を提供してほしい
LINEなど多くの市民が見ることができるアプリ等の活用
大事な税金の詳細な利用用途の公開

(5)オープンデータとして公開すべき情報

問 15. 鹿児島市では、オープンデータの取組を実施しています。あなたは、今後鹿児島市がどのようなデータを公開するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈複数回答〉

オープンデータとして公開すべき情報については、「指定緊急避難場所情報」が40.9%と最も多く、次いで「医療機関情報」が37.2%、「イベント情報」が28.7%、「介護サービス事業所情報」が22.1%となっている。(図表5-6参照)

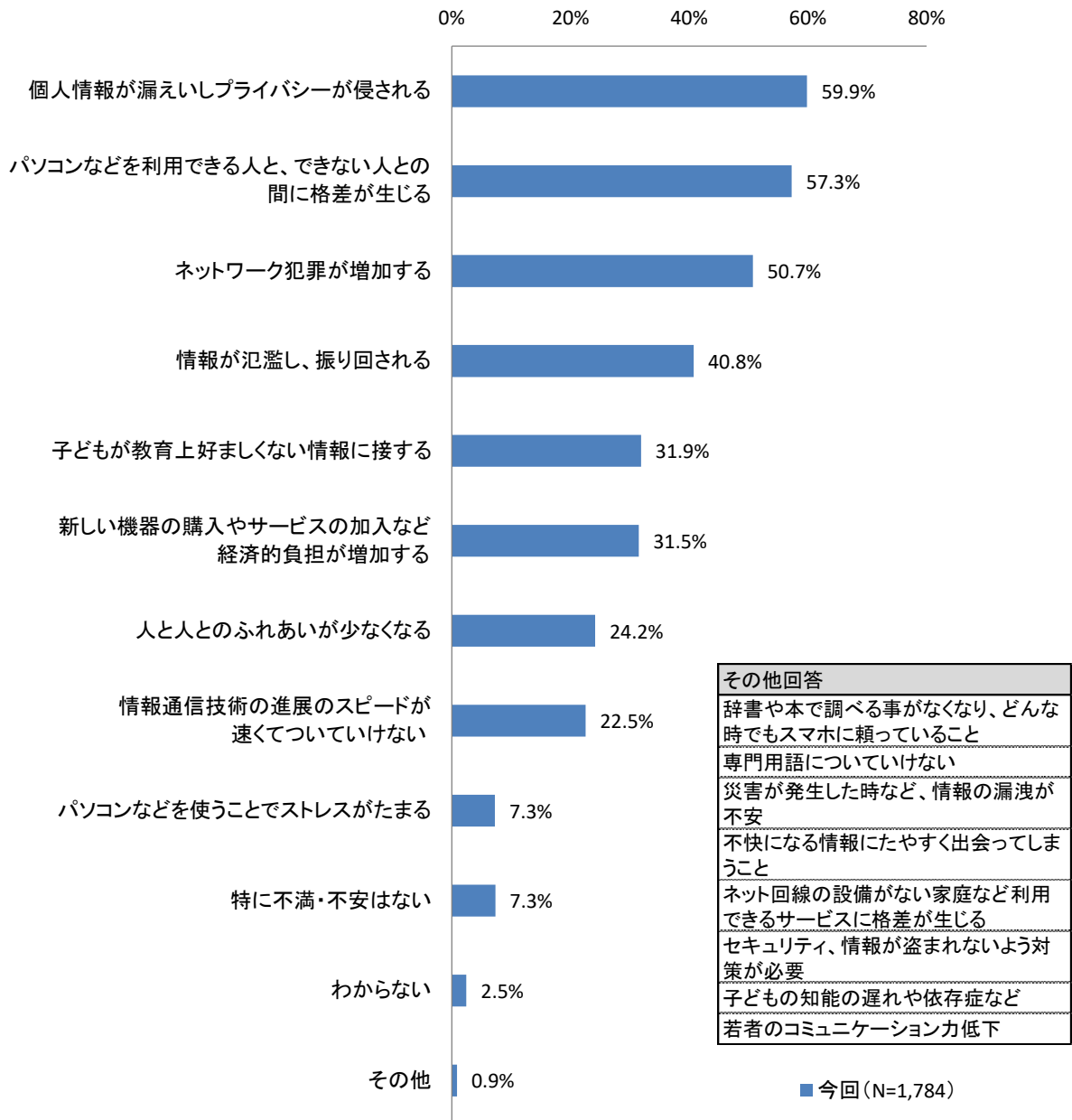


(6)情報化に対する不満や不安

問 16. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

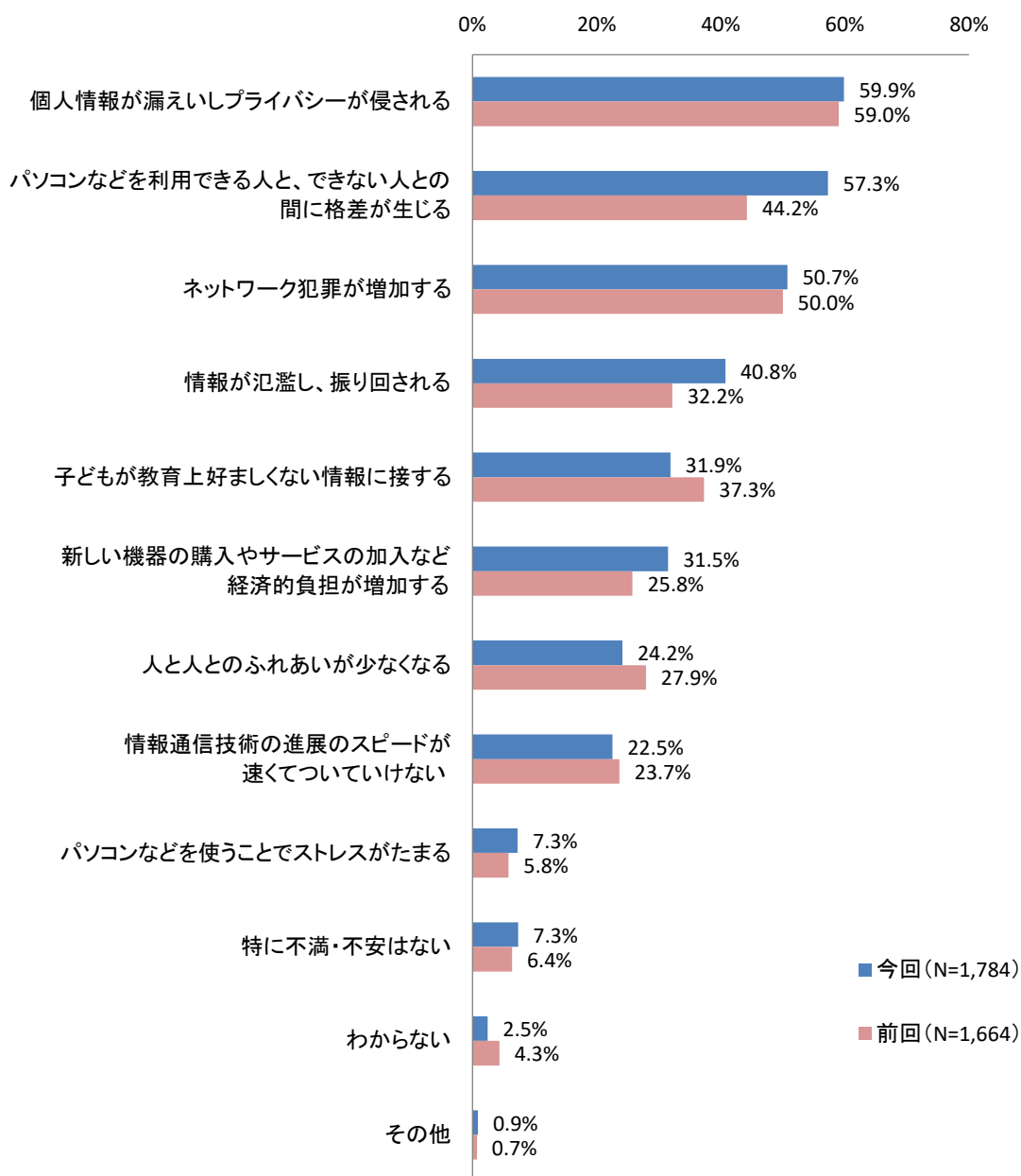
情報化に対する不満や不安については、「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」が59.9%と最も多く、次いで「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が57.3%、「ネットワーク犯罪が増加する」が50.7%となっている。(図表 5-7 参照)

図表 5-7 情報化に対する不満や不安



前回と比較すると、「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」「ネットワーク犯罪が増加する」といった情報セキュリティに対する不安については大きな差異は見られなかった。一方、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が 13.1 ポイント、「情報が氾濫し、振り回される」が 8.6 ポイントと増加している。（図表 5-8 参照）

図表 5-8 情報化に対する不満や不安の比較



年齢階層別にみると、10代～50代では「個人情報が漏えいしプライバシーが侵される」、60代～70代では「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が最も多くなっている。(図表 5-9 参照)

図表 5-9 年齢階層別の情報化に対する不満や不安

	1位		2位	
10代	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される	50.6%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	48.3%
20代		57.9%	ネットワーク犯罪が増加する	46.4%
30代		62.6%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	54.0%
40代		62.9%	ネットワーク犯罪が増加する	56.3%
50代		71.0%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	62.9%
60代	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	64.3%	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される	61.0%
70代		59.2%		47.1%

(7)情報化施策についての自由意見

問 17. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた内容を図表 5-10 のように分類した。「インターネットによる情報発信の充実」に関する意見が最も多く、次いで、「情報弱者への配慮」に関する意見も多く寄せられた。

図表 5-10 自由意見の分類

回答分類	回答数
インターネットによる情報発信の充実	39 件
情報弱者への配慮	32 件
情報化に対する不安・不満	30 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	28 件
セキュリティ対策の充実	7 件
その他	40 件
合 計	176 件

Ⅲ. 参考資料 自由意見

インターネットによる情報発信の充実

自由意見の内容	性別	年齢
情報を伝える対象ごとに分けた情報整理をして欲しい。	女性	10代
鹿児島市の情報を手軽に知れるアプリがあったら、それをテレビのCMなどで宣伝して欲しい。	女性	10代
学生ですが鹿児島市の情報を確認できていません。鹿児島のホームページを見ることはないようです。キャッチする情報はLINEニュースやTVのニュースばかりで自ら情報を取得する姿勢は薄いと思います。もっと気軽に情報をキャッチできる、もしくは与えられるくらいの勢いでないといけない気がします。情報化が進み、人間は世界中とつながる事ができた代りに数多くある情報に困惑することになりました。コロナ禍でキリキリする中ですが、鹿児島という素敵な場所でもっと多様な人々が住みやすくなるよう、そしてコロナと情報化と共存していけるよう、よろしくお祈りします。若十代の若造ではありますが、未来を担う者として、これから尽力して参ります。	答えたくない	10代
紙媒体で伝えるだけでなく、ラインやツイッター、インスタグラムも活用して欲しい。	男性	20代
災害時早期情報開示（桜島の噴火、台風、大雨洪水、地震など）	女性	20代
何か困った時には基本的にインターネットで検索します。グーグルなどで検索した時にスムーズに欲しい情報にアクセスできるよう、分かりやすいホームページデザイン、よく利用される情報は大きく表示などにして欲しい。	男性	30代
全市民に確実に届く必要のある情報はテレビなどより届きやすい媒体で伝えるべきだと思います。学校のオンライン授業はIT状況が家庭によって異なるから検討すると市教委の答え。教育の機会を奪っているのは行政です。災害やコロナで被害を受けたとしても教育を再開できるよう検討して欲しい。	女性	30代
マイナンバー登録等について、市からもっと発信して有効活用して欲しい。	女性	30代
文章や説明をもう少しわかりやすくして欲しいです。	女性	30代
子育て、介護をしている身として学習のための情報や福祉に関する情報を充実して頂けると有難いです。介護施設やサービス利用に関する手続きを分かりやすくまとめた市のサイトなどがあるととても役立つと思います。少なくとも週1ペースでの更新が必要だと思います。子供の療育に関する福祉情報も充実させて欲しいです。何度も役所にうかがっても詳しいことを把握している職員の方がいない。おそらく現場などに足を運んだことはないのだろうと思います。せめて各施設の特徴や詳細などをまとめたポータルサイトなどを作っただけなら窓口への問い合わせされる方も少なくなり双方にとってもメリットがあるのではないのでしょうか。	女性	30代
鹿児島市のHPが使いづらいです。他の県、市のHPを参考にされて、みたいと思うようなHPづくりにしていただきたいです。サンサンコールはとても素晴らしいです。一つの窓口から希望の窓口へつないでいただけるのは本当にありがたいです。続けて下さい。各種イベントを鹿児島市のHPで見ることが出来たら楽しいなと思います。	男性	40代

自由意見の内容	性別	年齢
先日ホームページより大人の発達障害について調べた。各病院のホームページに飛んでみたが繋がらないところもあり今一度確認して欲しい。	女性	40代
ホームページを見ても内容が少なすぎて、結局活用できず、TELしたり行ったりしないといけない。ネットの情報が少なすぎる。作った人が一度使ってみてはどうでしょうか。	女性	40代
施策の情報の閲覧方法も不透明なので分かりやすくしてほしい。資格の取得推進などででも、学びの推進で市民の生活状況、生きがいの向上などにつながるようなことを情報として増やしてほしい。	女性	40代
今回ホームページでコロナの情報がとても見づらく理解しづらかったです。情報も最新のものではなく困りました。障害者でも情報収集できるサービス方法があったらと思います。また障害者が声をあげられる場をつくって下さい。全市民、全県民が住みやすく、そして日々穏やかな生活を送られるような対策をお願いします。	女性	40代
新型コロナウイルス対策について、危機管理課と同様のLINEがあると、情報や現在行っている市の政策、広報など分かりやすいと思います。災害時のLINEはとても助かります。	女性	40代
食や観光など魅力ある鹿児島をどんどんアピールして下さい。	女性	40代
欲しい情報などに行きつけないことが多いです。もっとわかりやすい検索しやすい構成にして欲しいです（ホームページなど）。毎回同じ人があれこれ言うより、若い世代の詳しい方にすべてを任せて、それなりの役職につかせてはいかがでしょうか。	男性	50代
市のHPにどんな統計情報が公開されているかわからないです。逆に利用する（必要のある）情報が発信されていないのでは？と思いました。市民にとって有益な情報の発信元、掲載元を集約し、その情報を分析した結果、市がどのような状況にあるか説明していただけると良いのではないかと思います。	男性	50代
鹿児島の魅力を全国に発信できるものであって欲しいとも思います。作成するお仕事の方々も表現の仕方など大変気をつかわれる難しいお仕事だとは思いますが、ぜひ楽しんでつくっていただきたいです。	男性	50代
行政のホームページが使いづらい。もっと直感的に必要な情報にたどりつけるようにしてほしい。情報弱者に対する施策を示していくべきだと思う。	男性	50代
自然災害が起きた時にどこに避難したらいいのか、避難場所が足りていないのではないかと。まずどこに逃げたらいいのかなどの情報提供が欲しい。	女性	50代
何かもっと目につくような安易に情報を得る手段があればと思います。せめてLINE等で情報を県が発信するようなものがあればと思います。	女性	50代
ICタグ等を利用して情報がスムーズに得られると楽なような気がします。	女性	50代
ゴミの出し方で分からない物があるのでパソコンやスマートフォンで検索出来ればいいと思う。もしすでにあるとすれば、市民に伝わっていないと思う。	女性	50代
画像等軽くして目的の情報にすぐたどりつけるようにサクサク検索していただけるように努力してほしいです。	男性	60代
市民に市の情報化施策をわかりやすく説明する。利便性を感じていただくための広報が必要だと思います。	男性	60代

自由意見の内容	性別	年齢
コロナ禍の、感染が確認とれると結果も大事だが原因と結果を併せ発信願いたい。常に県民になぜ起ったのか我々はこうすれば良いんだと考える事が出来る情報の提供をお願いしたい。結果のみでは何に気をつけてどう対処できるのか解らない部分が存在します。本当に欲しい情報を乞う人が多いと思います。	男性	60代
今はコロナの状態や発生地区などを知りたい。それによって注意を促す。	女性	60代
コロナに対する感染ルートの公開をもう少しして欲しい。	女性	60代
保養のため、市内のホテルを時々利用しているが、一覧になっていると嬉しいなと思います。県外からの人も見やすいのでは？（料金、朝食、ランチ、温泉の有無、サービス等）	女性	60代
情報化施策で、県や市の支出、収入の内訳等、分かりやすい言葉で、メールで流して欲しい。市長にもいろいろ個人的に質問出来るコーナーを設置して欲しい。その方がもっと素敵で鹿児島へと変貌していくと信じます。	女性	60代
コロナについて特設を設けていると思いますが、まだまだ分かりにくいです。活字が多い今のHPとは別で活字が少ない画像や写真、スクリーンショットをもっと活用して下さい。	女性	60代
分かりやすくシンプルな表示。	女性	60代
関東出身ですが、あちらではテレビのテロップ等で今日のイベント情報等が常に流れています。鹿児島は後で知ることが多いです。良いところがいっぱいあるのにアピール下手だと思います。関係者だけが参加してはだめだと思います。	女性	60代
今後ともより良い情報提供に活躍されることをお願いします。	男性	70代
分かりやすい流れの情報伝達を心掛けて欲しい。個々の情報が細かすぎて分かりづらい。インターネットを使った行政の情報は、ある意味産業革命にも匹敵する歴史的なパラダイムシフトをもたらすと思います。	男性	70代
ホームページの自由語検索など。	男性	70代
いろいろなツールで情報化施策が推されて良いと思います。子育て世代、勤労者は多忙でゆっくりできないため、施策等が浸透していないのでは？今回のアンケートみたいに広く多くの人意見を聞くことは大切だと思います。そして実現可能なこと、費用対効果、反論などアンケート結果公表が大切だと思います。	男性	70代

情報弱者への配慮

自由意見の内容	性別	年齢
情報機器を使えない高齢者世帯に対してのサービスをどうするかをよく考えて実施してもらいたい。	女性	10代
市民意識調査によって民意にのっとりICTが推進されていくことを望みます。鹿児島は老人も多いので情報化を進めると共に対応出来ない方たちへの対応はまだ残しておいて欲しいです。	答えた くない	10代
情報化により、知りたい情報はネットですぐに調べる事が出来るが、高齢者の方には難しいと思います。市民のひろばなどの情報誌は、ほとんど見る事がなくそのまま捨てる事があり、資源の無駄なので欲しい世帯にのみ配布でよいと思います。	女性	30代

自由意見の内容	性別	年齢
I T機器をスタンダードに使える情報共有機器が分かりやすく使えるようにして欲しいし、特に携帯で分かりやすく説明していただけると利用が増えそうであるのでは？と感じました。	女性	40代
市で高齢者向けの講座などをサロンの感覚であちこちで開催したらよいと思う。遠くまで行けない方も多いと思うし、地域の集まりなどでやることによってきっかけづくりになると思う。	女性	40代
これからは情報化時代なので、個人個人が情報を得る努力が大切。情報格差を少なくするような対策が必要。	男性	50代
機器を所有していても利用（活用）方法が分からないもの向けのガイドブックの作成等、紙ベースの資料は特に高齢者には必要。	男性	50代
若い方には便利で身近に感じられ使用頻度は高いと思われれます。高齢者にはなかなか追いつけない感があります。便利だと思いますが不安もあります。自分が探しているサイトにたどり着くまで何度も操作しなければならなかったりと面倒にも感じます。簡単に自分が探しているサイトにいければ使用すると思います。	男性	50代
高齢者世帯でも簡単に使えるネット環境を整えられたら良いと思います。行政への申請、買い物、オンライン診療、TV電話など。	女性	50代
パソコン、インターネットとかの世代でない高齢者の方との格差があるので何とかなれば良いと思う。こうやって意見をすくい上げて改善しようという取り組みが素晴らしい。	女性	50代
パソコンやスマホを使いこなせない人でも優しい社会であるよう望みます。全てをICT推進の方向で考えるのはどうかと思います。もしくは苦手な人でも使いこなせるような機器の開発。ソフトの開発を望みます。	女性	50代
パソコンなどを利用できない人やパソコンを所有していない世帯へのサポートも同時に考えていただきたい。	女性	50代
高齢者に配慮した施策にしていきたい。	男性	60代
高齢者に優しい市運営をお願いしたい。情報化は社会の流れ上受け入れていかなければならないが、同時に紙媒体の両立も合わせて検討して欲しい。	男性	60代
パソコンなどの手続きは難しい	男性	60代
高齢化が進んでいるので高齢者にも使いやすいシンプルなものにしてほしい。各家庭にパソコンかタブレットを設置できるよう助成措置を講じて欲しい。毎日見たくするような情報を提供して利用しやすいものにして欲しい。	男性	60代
すべての市民が分け隔てなく、すべてのサービスを平等に受けられるようにして欲しい。人権の平等はもちろんのこと、差別のない市民生活を送る事が出来ることを望む。担当窓口の謙虚、誠実な対応。	男性	60代
ラスパイレスを考えれば、パワーユーザーの職員がボランティアで機器活用教室を実施すればいいのではないか。それがラスパイレスを守る事にもつながるかもしれない。	男性	60代
高齢者には出来るだけ簡単で分かりやすい情報化施策をお願いしたい。	女性	60代
否応なしに情報化社会は進んでいくことを自分も積極的に取り入れていこうと思います。情報格差がおこらないようにまずは、貧困家庭（子供）に目を向けて欲しいです。	女性	60代
若い方と年配者の情報入手にとっても格差を感じます。少しでもその差がなくなる取組を考えてもらえたらと思います。	女性	60代

自由意見の内容	性別	年齢
高齢者等情報化サービスに対応できない人の立場になったりと、あらゆる状況を踏まえた上での施策を希望。	男性	70代
情報化社会が進むことにより、それについていけない世代があることを考慮し進めて欲しい。情報に取り残され、世の中の情勢から取り残される人が出てくる可能性がある。ゆっくり時間をかけて取り組んで欲しい。	男性	70代
70代で、パソコンがあってもできない中、やっとスマホで少しずつ機能を理解している状態です。鹿児島市の情報は紙面で得ている状態です。高齢者への対応をどうしたら良いのか考えてもらいたいです。	女性	70代
個人では持ってないので使い方も分からない。	女性	70代
市のホームページを見て下さいというのが多い。インターネットを使っていないので見られない。	女性	70代
時代が変化しているのは感じるがこの年齢ではついていけない。今はコロナでスマホに買い替えても教えてもらえないのでさっぱり分からない。分かる様になっても漏洩や個人保護には不安。安心して使えるインターネットの利用に挑戦したいものの今のところ先には進めない状況です。市から発信されても受け止められない。	女性	70代
情報化は大事ですが、先走りすぎて中途半端な気がする。学校教育を見直し、小中のうちからパソコン等格差のないこと。これから先、若者が県内で仕事ができるように。市がしっかり手をつなぎ、足元から見直し、心から話し合い、情報化の大切さを市民の高齢者にもわかりやすい伝え方をお願いします。	女性	70代
情報化は素晴らしいことですが置き去りにされる人がないようにお願いします。	女性	70代
PC、スマホ等の講習会をお願いします。	女性	70代
情報機器の発達によりいろいろな情報を素早く伝えて頂き感謝している。今後も高齢者に分かりやすい情報提供を工夫してくださるようお願いいたします。	女性	70代
高齢者が多くなり、情報化により大変格差が生じると思います。私たちの住んでいる地域は、自治会長が町内会であったこと等を書いてまわして下さいます。人と人とのつながりが残っていて素晴らしい情報です。パソコンも良いですが、地域によっては広報紙が大変役立っています。	女性	70代

情報化に対する不安・不満

自由意見の内容	性別	年齢
情報化するにあたり、どこから力を入れていくつもりなのか分からない。	男性	30代
公開する事だけが情報化のメリットではない。	男性	30代
市だけが情報化するのではなく民間（特に中小企業）にも情報化できるように取り組んで欲しい（格差がなくなるようにすべき）	女性	30代
情報化がどんどん進む中、便利な反面、情報が入りすぎて戸惑うこともあります。うまく活用していけたらと思います。	女性	30代

自由意見の内容	性別	年齢
教育現場の者です。今回のコロナ等でリモート会議等が必要になり機器を揃えたり、セキュリティが強化されすぎていて、かなりの手間と労力を要しました。県立高校現場での話です。生徒達の学習の質を上げるためにも、県と市が一丸となってICT活用を推している目標に沿った支援、協力体制を整えて欲しいです。	女性	30代
情報化が進む中で不安もありますが、今後絶対に必要なものだと思います。若いうちから情報機器に触れておく（慣れておく）ためにも小、中学校への教育（情報について）を強化して下さい。	男性	40代
特に情報化施策など余計なことをする必要はないと思う。年寄りには使えなかつたりするので格差が大きい。無駄。	女性	40代
マイナンバーカードが将来、保険証として使えると聞きました。どの病院でどんな薬を処方されたとか分かってしまうのは嫌です。	女性	40代
便利な世の中になり役割が整理されてきてとても分かりやすくなった反面、人とのコミュニケーション能力が低下しているような気がします。若い方が年配の方と触れ合うきっかけになるように地域で勉強会などしていただくコミュニティを使ってもいいのかなと思います。	女性	40代
中学校での個人の携帯を持ち込みしてもよいという文科省の案がニュースで出ていましたが、親の負担や子どもの関係性の悪化などをよく考えて欲しい。	女性	40代
情報化はそれなりに形になっていくと思います。大切なものは紙に書く方が良いと思います。	男性	50代
情報化施策の費用対効果の情報開示。児童の教育におけるタブレットや情報の危うさ、子どもの感覚、教育現場、家庭と行政との温度差。	男性	50代
犬迫、小山田あたりで光回線がなく、議員が動いたと聞きました。インターネット回線も大切なインフラなので、行政がしっかりと把握して欲しい。	女性	50代
情報化施策を考えるのであれば、現場の声を拾い上げていただきたい。	女性	50代
縦割り行政にならぬよう、情報化についても総合的な横の連携を大切にして欲しい。誹謗中傷がはびこる今の情報化にくさびを打ってほしい。	男性	60代
情報化が進むことにより、犯罪も増加、メンテナンス、開発等に多額の予算が今後増えることと想定される。	男性	60代
ITの推進は必須の課題ですが、ひと昔前には考えられない進化を遂げている。情報の捏造をしない事、よくも悪くも情報そのものを大切にしてもらいたいです。	男性	60代
ディスカバー鹿児島キャンペーンがあったが、電話は全然つながらない。二回目はホームページを見るようにとのこと。パソコンがない人は申し込みが出来ない。	女性	60代
情報化が推進されることにより、利便性が増し生活の幅が広がるような気もしますが、問16の選択肢にあるような問題も発生する懸念があります。また、若い人や子ども達は情報化に関する教育を十分に受けてきていますが、今後より進む高齢化社会の中で、どのように進めていかれるのか十分配慮して推進していかれることを願います。	女性	60代
情報化についていけません。頭が固くなっています。理解が大変です。	女性	60代
経済格差に関わらず、隅々まで情報化施策をお願いしたい。	男性	70代

自由意見の内容	性別	年齢
テレワークやスマートフォンを横目に見て時代遅れに感じますが、便利になったことは確かです。SNSなどでイジメにあい、命を亡くす若者がこれ以上増えないことを祈ります。	女性	70代
機器の購入、金銭的なもの、使用方法、この年ではストレスそのものになります。	女性	70代
「市民のひろば」で情報は充分だと思います。	女性	70代
時代の流れで情報化施策は仕方ないと思うが情報漏洩、犯罪に使われることなど考えたら心配である。	女性	70代
情報化社会についていけない、インターネットも分からない。早い時期に勉強すべきだったけど、仕事に追われITに関わる時間がなく後悔しきりです。	女性	70代
パソコン等持っていないけれどテレビ、新聞で毎日を生きて行く上で、不便不自由を感じた事がないような気がしています。今後も携帯電話とテレビぐらいから情報を得るだけの生活で過ごしていくことかなと思っている。	女性	70代
仕組み等。カタカナ語の意味。情報化のメリット・デメリットなど簡単に教えて欲しいです。	女性	70代
5Gの設置について疑問あり。健康被害について関連説明が充分になされていないと感じる。いつ、どこへ設置する等の情報が不明だと思う。	—	—
IT化だけでなく市職員と面と向っての交流が必要と思う。それにより市としてもニーズが分かるはず。	—	—

情報通信技術を活用した市民サービスの充実

自由意見の内容	性別	年齢
情報をよく更新しているが、万が一の時への備えや子育て世帯への補助といった面の情報が少しあったら安心して生活できるのかなと思います。	女性	20代
無料Wi-Fiスポットの増加と通信速度の改善。AED避難所等が掲示されているアプリの改善。アプリの活用。	男性	30代
小学校の欠席届の提出はFAXか、近所の友達に連絡帳を渡してもらおうかだが、電話かLINE等に変えて欲しい。	男性	30代
情報化を行っていくのなら、どの地域にもBBQやWi-Fi等の地域の格差をなくして欲しい。現在利用しているWi-Fiは通信制限がすぐにかかってしまう。NTTの人にもきて貰ったが市内でも範囲外と言われ契約が出来なかった。	男性	30代
情報化にあたっては人の目に触れやすいようにすることも大事。人通りの多い場所に、モニターなどを設置して情報を目にしやすいようにすれば良いのでは。	男性	30代
環境問題的にもどんどん紙での運用を減らしてデータ運用にすべきだと思う。市バス、市電を全国共通のICカードにすべき。市(県)がサポートをしてでも、キャッシュレス化を進めるべき。現金のみの店が多い印象。	女性	30代
Wi-Fi環境を増やして欲しいです	女性	30代
無料Wi-Fi環境の整備など、いろんな人がインターネットを使えるようにして欲しい。通信料金がなくてインターネットを利用していない人がいるため。	女性	30代

自由意見の内容	性別	年齢
災害時のテレビやラジオでの情報提供時に、障害のある人の行動についても呼びかけて欲しい。避難所が開いているかどうか。コロナウィルス感染関係について。	女性	30代
コロナ感染者に関する情報でもう少し発生源の地域（住んでいる場所等）を特定して情報を提供して欲しい。個人情報保護との関係もあると思うが、どこで感染が広がっているのか市民も把握して感染防止に努めるべきだと思う。	男性	40代
吉田地区は光回線がひけないので毎月の通信料がかなり負担になっています。早くWi-Fiなどの通信が利用できる環境を望んでいます。	男性	40代
公共施設のWi-Fi環境の整備と利用できる為の周知（目立つ場所に掲示）を希望します。	男性	40代
天文館と中央駅に大型テレビをつけ、鹿児島市のニュース、情報、天気予報（今日、明日、一週間）桜島の灰、風向きを何度も映して欲しい。	女性	40代
小学校が長期休校になった際、オンライン授業をして欲しいと強く思いました。子供がいる家庭でパソコンを購入する際の補助や、ネットワークの構築を急いで進めて欲しいです。他の市町村と横並びに進めるのではなく、先行で進めて欲しいです。	女性	40代
バスが時間通りに来ない。バス停にバスがどのくらいで来るのか、通過、未通過が分かる電光掲示版などにして欲しい。	女性	40代
平日に書類の手続きに行けないのでネットで手続きができるようにして欲しい。	女性	40代
もっとWi-Fiの利用できる環境を整えて欲しい。せめて図書館などでは必須なのではないかと思います。	女性	40代
鹿児島県警安心メールのように、不審者、危険なことなどの詳細な情報を共有できるアプリが欲しいです。	女性	40代
鹿児島市の無料Wi-Fiの実施。	女性	40代
図書館でPCの勉強がしやすくして欲しい。	男性	50代
市民に役立つ確、正確な情報の配信。	男性	60代
総合的に行うのではなくポイントを絞ってアピールして下さい。Amazonなどでは、地元の商店を使いたくなるような利用サービスを期待しています。地元の情報が安易に手に入ればAmazonを使わなくてもよくなるかもしれません。	男性	60代
コロナ禍にあって、子供達が、平等に教育を受けられるようなネット環境の推進。	男性	60代
選挙電子投票の実現。LINEによる市施設のお知らせ、イベントや天候による営業有無や時間の案内	男性	60代
様々な申し込み（講座の申し込み）はネットで出来るようにして欲しい。	女性	60代
住民票、戸籍抄本（謄本）、印鑑証明等がインターネットで申請、交付出来るようになると市役所に行かなくても済むし便利になると思います。	女性	70代
マイナンバーカードを利用した戸籍など、コンビニでの個人情報の取得情報の拡充を図ってほしい。	女性	70代
学校教育のICT化をすすめて欲しい。市立図書館の電子書籍の導入をすすめて欲しい。	女性	70代

セキュリティ対策の充実

自由意見の内容	性別	年齢
プライバシーをしっかり守って欲しいです。	女性	10代
ネットワーク犯罪の対策を取って充実して欲しいです。	男性	20代
個人情報がしっかり守られるようにして欲しい。子供への教育（ネット犯罪、ネット上でのいじめ、SNSによる誹謗中傷、ネット依存など）。選挙がネットで出来るといいなと思う。市バスの時刻表がネットではわかりづらい。オンライン授業がどの学校でも実施できると安心です。	女性	30代
運動会などで他人の子が映った動画や写真をSNSに挙げている親もいます。市のホームページなどでも、インターネットを使う側に注意するように促すページなどがあると助かると思います。	男性	40代
個人情報の流出阻止を今後もお願いします。	女性	60代
スマートフォンは便利ではありますが、難しい面と悪い面があります。特に今の子どもは3歳の孫でもスマホが使える事はいい面、悪い面もある。セキュリティ強化にさらに取り組むべきです。	男性	70代
インターネットを利用することによって、便利な反面、個人情報が流出することを心配しています。情報化が進むことは私たちにとって大変有難いのですが、ニュースを見ているとセキュリティ対策が弱いと感じています。	女性	70代

その他

自由意見の内容	性別	年齢
必要性が感じられない発電所の建築による環境破壊が多すぎる。	男性	10代
本当に人として何が正しいかを考えて改善して下さる方で、子どもたちの未来を守っていただけるようにして欲しいです。	女性	10代
今はとにかくコロナに負けない事。	男性	20代
皆が平等に情報を手に入れられる機会作り、環境作りから始めて欲しい。保育士としての意見です。保育所は働く保護者の方たちのためにあると聞きますが、働いていない方が多くて、自営業と言えどもどうにでもなる、なっているというのを当事者としてとても感じます。本当に働きたくてもなかなか入れない家庭もあり、入所する基準をもう少し明確に、現代にあった基準、方法を考えるなどもう少しどうにかして欲しいです。本当に必要としている方の為をお願いします。	女性	20代
小中学校のタブレット端末の導入は情報リテラシーを高めるためにも必要だと思う。また子供が携帯を持つ場合、持たない場合のメリット、デメリットを明示し、学区ごとで統一した見解、方針を示すことが必要である。	男性	30代
防災無線が聞こえない。ダブルサッシ等で家の中で外の音は聞こえない。	男性	30代
子供がたくさんいるとパソコンなど学ぶことは厳しい。	女性	30代
どんな情報、どんな手段で伝えるにせよ、内容が活字になった時点で人は難しく感じ、知りたい情報でも面倒になってしまうし、伝えたい側の思いや考えも伝わりにくいと思う。難しいことを簡潔に説明できるスキルのある方を育成したり、起用するのが先決ではないでしょうか？	女性	40代
市のホームページを利用したことがないのが現状です。	女性	40代

自由意見の内容	性別	年齢
独身者にも優しくして欲しい。情報を見ていると独身に住みにくい市になっている。	答えたくない	40代
各セクションの担当者たちがそれぞれ懸命に職責を全うされているのは市役所を訪れたらすぐわかる。今後も市の発展のために職務に精励して頂けるものと確信したい。	男性	50代
鹿児島市の安全、安心、そしてよりよい生活を送れますように、感染症などの軽減に力を入れて下さいますよう、よろしく願います。	男性	50代
交通網の取組をもっとしっかりして欲しい。	男性	50代
鹿児島県と市が連携して取り組むべき事業に関する情報が、それぞれからばらばらに出されることは改善すべきだと思います。	男性	50代
市民が利用しやすい方向に導いてくださる事を希望します。	女性	50代
情報化施策の話ではないのですが、体育館建設は、どれだけの人が必要としているのでしょうか。都会の様に商業施設を中心以外に欲しい。若者の働く場所もできると思います。	女性	50代
情報化の後の魅力を感じられるよう期待しています。	女性	50代
2度、障害者年金の申請をしたがもらえず生活に困っている。厚生年金も国民年金も払い終わっているが難病のため仕事が難しい。	女性	50代
リサイクルの処理方法を具体的に知りたいです。(缶、瓶等)	女性	50代
企業誘致(若い人の県外への就職)。県民の所得の向上。	男性	60代
若者たちの地域活性化企画の取り上げ、支援。廃屋、古民家の活用情報。街の色が暗いなどの対策。活性化企画の募集など。	男性	60代
歴史と文化を中心とした鹿児島。古い中にも情報化政策を推進。シンプルにわかりやすくスピーディーに。	男性	60代
屋外に設置されている防災無線を充実して欲しい。聞こえない場所がある。ごみの収集方法の変更等周知されていない。パソコンの使えない人、広報紙等、読めない人は変更になったことを知らない。	男性	60代
ここ最近ヤンバルヤスデが大量に発生して不快害虫対策がされていなくて困っている。土地開発課と衛生の担当者との連携をお願いします。ヤスデ情報をお願いします。	女性	60代
鹿児島市民のひろばは細かく詳しく書かれていて毎号楽しみです。	女性	60代
若者が流出するのは、経済的な魅力に欠けるから。財政を圧迫しているのは何なのかをもっとわかりやすく住民に知らしめることも大切かと思います。それによって私たちが何をしなければならないのか一人一人自覚できるのでは?高齢者の割合が多いので年金も今後医療費が圧迫して減り、生活の不安があります。予測した将来へのアプローチが必要かとおつくづく思っています。	女性	60代
安心、安全で効率的に誰もが住みよい鹿児島市になることを期待している。	女性	60代
地域の町内会に加入を勧めて欲しい。加入者は高齢者が多く若者が少ない。それぞれの町内会がする事ではあるが市のほうでも推進して欲しい。	女性	60代
生活保護者の実態はどうなっていますか?私の周りにも生活保護を受給されている方は何人もいます。かたや本当に困っている方、例えば全身がんで仕事もできず保険にも加入していないという方も知っています。どうにかして欲しいです。	女性	60代

自由意見の内容	性別	年齢
<p>障害者総合支援法が施行されました。精神科の病院はむやみやたらに社会に患者さんを出してほしくありません。空き家に住み込んだりされた人達が暴れたり奇声を発したりと、一般住民も非常に迷惑を被っています。しっかりと精神保健福祉士なりをつけて欲しいです。</p> <p>住宅街にグレーゾーンの土地などがあると、子供達がそこで悪さをするなどたまり場になります。住宅街は整備して欲しいです。高齢者、18歳以下の子供達の人口分布の把握はしっかりとしてもらいたいです。民生委員の方はおそらく手がまわっていないと思います。</p>	女性	60代
<p>手話通訳者の勤務態度、正確さに欠けるものがいたる所にいます。同じ場所に長年居座れるものがあるので、慣れが生じているのではないのでしょうか。鹿児島市の役職の目の届かないところに問題があります。通訳派遣所では自分のあった仲間同士のたまり場があってそれが問題です。</p>	男性	70代
<p>子供達の未来、いろんな世代の人々の生活、学習環境を得るための人、物、金の投資をし、それには節約をして、皆が共有、共生出来る様な情報化における自然ともマッチした社会環境が出来たらと思います。</p>	男性	70代
<p>かごしま暮らしのガイドブック等の益々の充実をお願いします。</p>	男性	70代
<p>生活環境の整備。</p>	男性	70代
<p>市民生活の向上につながると思います。</p>	男性	70代
<p>桜島の噴火について全く情報がない。40年前と同じ内容で町内会防災研修をやっている。</p>	男性	70代
<p>とても明るい市政になってきていると思う。コロナ禍で日本中、世界中大変ですが、リモートが進みまさにネットワークが必要だと思います。自分自身ももっと勉強したいと願っております。</p>	女性	70代
<p>安心して暮らせる町づくりを、さらに期待しています。</p>	女性	70代
<p>老後を生活しやすく住みごちの良い環境をお願いします。</p>	女性	70代
<p>情報機器を持っていないのであまり世の中の事が分かりません。</p>	女性	70代

IV. 資料 調査票

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために実施するものです。

この調査をお願いする方は、16歳以上80歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人による記入が難しい時には、周りの方が代わりにご記入下さい。
2. ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（ ）内にはできるだけ具体的にご記入ください。
3. 本アンケート中に使われている用語については、表紙の裏に用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。
4. このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。
5. ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、令和2年8月31日(月)までにご投函くださいますようお願いいたします。

※パソコン、スマートフォンからご回答いただくこともできます。

URL <https://shinsei.pref.kagoshima.jp/FekI5ZVi>

※アルファベットの大文字と小文字は上記のとおり入力ください。

エフ(大文字) イー(小文字) ケー(小文字) アイ(大文字) 5(数字)

ゼット(大文字) ブイ(大文字) アイ(小文字)



※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問い合わせ先

鹿児島市 ICT 推進室

住 所：〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

電 話：099-216-1115（直通）

FAX：099-216-1117

【用語説明】

用語	説明
タブレット型端末	液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、指で操作する板状の携帯情報端末。代表的なものにiPadがある。
スマートフォン	個人用の携帯情報端末の機能を併せ持った携帯電話。音声通話以外に、ウェブ閲覧、電子メールの送受信、文書ファイルの作成・閲覧などができる。
ウェアラブル端末	身につけて持ち歩くことができる情報端末。メガネ型や腕時計型などの端末がある。
光回線	光ファイバケーブルを利用した超高速インターネット接続サービス。データ転送速度は最大100Mbps～1Gbps程度。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
D S L回線 (A D S L)	既存の電話回線を利用して高速伝送を可能にする技術で高速インターネット接続が可能になるもの。データ転送速度は最大数Mbps～数十Mbps程度。2016年6月に新規受付は終了している。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
C A T V回線	ケーブルテレビのケーブルをインターネット接続に用いる場合を指す。
I S D N回線	N T Tが提供する総合デジタル通信サービス。データ転送速度は64Kbps。2018年11月に新規受付は終了している。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
ブログ	ウェブログの略。時系列に並べられた日記風の記事と、それについてのコメントが定期的に更新されるウェブサイトのこと。
電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって情報の書込みや閲覧をすることが可能。BBSとも言う。
チャット	ネットワーク上で参加者同士が文字による会話を同時に行えるようにしたサービス。
アプリ	ワープロ・ソフト、表計算ソフト、画像編集ソフトなど、作業の目的に応じて使うソフトウェア。
動画投稿・共有サイト	インターネット上のウェブサイトのうち、動画を投稿し、他のユーザーが閲覧可能な状態にする（共有する）サイトのこと。YouTube、ニコニコ動画などがある。
オンデマンド	視聴者のリクエストに応じてサービスを提供する。見たいときに見ることが可能な配信方法。
S N S	ソーシャル ネットワーキング サービスの略。参加者が互いに友人を紹介しあって、新たな友人関係をを広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイトのこと。
ネットトレード	インターネットを利用して行う、株取引や為替取引のこと。オンライントレードともいう。

用語	説明
オンラインゲーム	インターネットを利用し、多人数で同時に同じゲーム進行を共有することができるゲーム。
クラウドサービス	データセンターと呼ぶ大規模施設に置かれたデータやアプリ等をネットワーク経由で利用する仕組みのこと。
テレワーク	ネットワークを活用することにより、本来の勤務地とは別の場所で働く勤務形態のこと。
サテライトオフィス	本来の勤務地とは別の場所にある事務所・オフィススペースなどのこと。
モバイルワーク	営業活動や出張などで外出中に作業すること
認証技術	何かによって、対象の正当性を確認するための技術。ID・パスワード、指紋認証、電子署名など。
Wi-Fi (ワイファイ)	無線LANの規格で、国際標準規格IEEE 802.11 規格に準拠していることを示しており、対応している機器同士でネットワークを構成できる。
オープンデータ	地方公共団体などが保有する公共データを、市民や企業などに利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開すること。 地元ICT企業等がオープンデータを利活用して、市民生活に便利なサービス（スマホ用アプリなど）を開発することなどにより、地域経済の活性化や市民生活の利便性向上などが期待される。

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

1. 男

2. 女

3. 答えたくない

■年齢（令和2年4月1日現在）

1. 16歳～19歳

4. 40歳～49歳

7. 70歳～79歳

2. 20歳～29歳

5. 50歳～59歳

3. 30歳～39歳

6. 60歳～69歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に○印をつけてください。）

1. 農林水産業

5. パート、アルバイト

2. 自営業（農林水産業以外）

6. 学生（高校生も含む）

3. 会社員

7. 無職

4. 公務員

8. その他（ ）

■居住地（2ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

1. 中央地域

6. 谷山北部地域

11. 吉田地域

2. 上町地域

7. 谷山地域

12. 喜入地域

3. 鴨池地域

8. 伊敷地域

13. 松元地域

4. 城西地域

9. 吉野地域

14. 郡山地域

5. 武・田上地域

10. 桜島地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。（例：山下町）

（ ）

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番号	地域区分	所 属 町 丁 目
1	中央地域	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
2	上町地域	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
3	鴨池地域	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
4	城西地域	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
5	武・田上地域	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
6	谷山北部地域	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
7	谷山地域	西谷山1～4丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ッ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
8	伊敷地域	伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
9	吉野地域	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目
10	桜島地域	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
11	吉田地域	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
12	喜入地域	喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
13	松元地域	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
14	郡山地域	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

< 1 > あなたの世帯での情報通信機器の保有状況、利用状況についておたずねします。

問1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけでなく、仕事上での利用等あらゆる場合も含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用も含みます。

問2. (1) あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。（ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。）

1. 自宅のパソコン（2のタブレット型端末は除く）
2. タブレット型端末
3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く）
4. スマートフォン型の携帯電話
5. ファクシミリ（FAX）
6. インターネットに接続できるテレビ
7. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
8. ウェアラブル端末（メガネ型・腕時計型情報端末など）
9. その他（)

(2) 「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 光回線
2. DSL回線（ADSLなど）
3. 携帯電話回線（サービス名に「5G」、「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）
4. 携帯電話回線（3以外のもの）（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）
5. ケーブルテレビ回線（CATV回線）
6. ISDN回線
7. 電話回線（ダイヤルアップ）
8. わからない
9. その他（)

問3. (1) あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. いる

2. いない

(2) 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコン (2のタブレット型端末は除く)
2. タブレット型端末
3. 携帯電話 (4のスマートフォンは除く)
4. スマートフォン型の携帯電話
5. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
6. その他 ()
7. 子ども専用の情報通信機器はない

(3) 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。小中学生の子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 不安を感じる 2. 少し不安を感じる 3. あまり不安を感じない 4. 不安を感じない

< 2 > あなたのご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問4. 過去1年間にインターネット (パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など) を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある → 問5へ 2. 利用したことがない → 問5の(6)へ

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合も含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用も含みます。

問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコン (自宅以外のものも含むが、2のタブレット型端末は除く)
2. タブレット型端末
3. 携帯電話 (4のスマートフォンは除く)
4. スマートフォン型の携帯電話
5. インターネットに接続できるテレビ
6. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
7. その他 ()

(2) インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。

利用したことがある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

利用頻度	パソコン	タブレット端末	携帯電話	スマートフォン	テレビ	ゲーム機	その他
毎日1回以上	1	1	1	1	1	1	1
週に1回以上	2	2	2	2	2	2	2
月に1回以上	3	3	3	3	3	3	3
それ以下	4	4	4	4	4	4	4

(3) どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. ホームページ・ブログの閲覧、書き込み
2. 自分のホームページ・ブログの開設・更新
3. 電子メールの送受信
4. 電子掲示板・チャットの利用
5. 無料通話アプリやボイスチャットの利用 (Skype、LINEなど)
6. 動画投稿サイトの閲覧・投稿 (YouTube、ニコニコ動画など)
7. 電子マネー (PayPay、楽天ペイなど)
8. ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用 (TVer、Huluなど)
9. ウェブアルバム (iCloud、Googleフォトなど、写真・画像の投稿・共有サービス) の利用
10. SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagram など) の利用
11. 電子ファイルの交換・ダウンロード
12. インターネットオークション、フリーマーケット (ヤフオク、メルカリなど)
13. 電子政府・電子自治体の利用 (電子申請、電子申告、電子届出、電子納付)
14. 商品・サービスの購入・取引 (15と16は除く)
15. デジタルコンテンツ (音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍等) の購入・取引
16. 金融取引 (ネットバンキング、ネットトレードなど)
17. クイズ・懸賞応募、アンケート回答
18. オンラインゲームの利用
19. 地図情報提供サービス (乗換、ルート検索等も含む)
20. 天気予報の利用 (台風情報含む、21は除く)
21. 防災情報 (地震、津波、緊急情報など)
22. ニュースサイトの利用
23. 辞書・辞典サイトの利用
24. 上記以外のクラウドサービス (Office 365、Dropbox、Evernote、Eight など)
25. その他 ()

(4) 企業など（公的機関、団体を含む）に勤めている方（個人事業主は除く）におたずねします。過去1年間に、インターネットを利用してテレワークをしたことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 1. 在宅でテレワークをしたことがある
- 2. サテライトオフィスでテレワークをしたことがある
- 3. 外出先でテレワーク（モバイルワーク）をしたことがある
- 4. テレワークはしたことがない

(5) 上記、問5（4）で「4. テレワークはしたことがない」以外（1～3）を選んだ方におたずねします。テレワークやモバイルワークをされた際に、どのようなインターネットのサービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 1. Z o o m
- 2. C i s c o W e b E X
- 3. M i c r o s o f t T e a m s
- 4. その他（ ）

(6) 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- 1. 今後利用したいと思う
- 2. 今後も利用したいと思わない
- 3. わからない

問6. すべての方におたずねします。現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 特に不満は感じていない
2. 個人情報の保護に不安がある
3. ウィルスの感染が心配である
4. 電子的決済手段の信頼性に不安がある
5. 違法・有害情報が氾濫している
6. SNS等におけるコミュニケーション相手とのトラブル
7. SNS等での誹謗中傷
8. 架空請求やインターネットを利用した詐欺
9. 迷惑メールが来ること
10. 通信料金が安い
11. パソコンなどの機器が高価すぎる
12. パソコンなどの操作が難しい
13. 接続速度が遅い
14. 認証技術の信頼性に不安がある
15. 情報検索に手間がかかる
16. 必要な情報がない
17. 利用する必要がない
18. わからない
19. その他 ()

問7. すべての方におたずねします。あなたは、過去1年間に携帯電話又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 自宅でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス
2. 自宅以外でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス
3. カメラ機能を使ったQRコードの読み取り
4. ICチップ機能を使った電子マネーやポイント・乗車券などの利用
5. 写真・動画撮影
6. テレビ機能（ワンセグ、フルセグ）
7. 音楽ファイルの再生
8. 地図情報、GPS機能と連動したサービス
9. この中では利用したサービスがない。
10. 携帯電話、スマートフォンを保有していない。
11. その他 ()

問8.(1)あなたは、過去1年間にSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. Facebook | 4. Instagram |
| 2. Twitter | 5. 利用していない |
| 3. LINE | 6. その他() |

(2) 上記、問8(1)で「5. 利用していない」以外(1~4、6)を選んだ方におたずねします。あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 毎日少なくとも1回は利用 |
| 2. 週に少なくとも1回は利用(毎日ではない) |
| 3. 月に少なくとも1回は利用(毎週ではない) |
| 4. 年に少なくとも1回は利用(毎月ではない) |

<3> 鹿児島市からの行政情報の入手方法等についておたずねします。

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 市が発行する広報紙(かごしま市民のひろば) |
| 2. 市のホームページ(パソコン版) |
| 3. 市のホームページ(携帯電話版) |
| 4. 市のホームページ(スマートフォン版) |
| 5. 市の機関が配信しているメールマガジン(安心ネットワーク119、すすくメールなど) |
| 6. 市のSNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagram) |
| 7. 市のアプリ(かごぶり、さんあ〜るなど) |
| 8. 防災行政無線 |
| 9. 地上デジタルテレビのデータ放送 |
| 10. テレビ(市のCMや市政広報番組) |
| 11. ラジオ(市のCMや市政広報番組) |
| 12. 市民便利帳 |
| 13. 市役所、公共施設に電話などでの問合せ |
| 14. サンサンコールかごしま |
| 15. 市が作成したポスター、チラシ |
| 16. 町内会の回覧 |
| 17. 新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど |
| 18. 家族、知人からの口コミ |
| 19. 特に情報を得ていない |
| 20. その他() |

< 4 > 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（夢すくすくねっと、りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料Wi-Fiサービス
15. オープンデータ
16. どれも利用したことはない

問12. 問11で「16.どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします。あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（夢すくすくねっと、りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料Wi-Fiサービス
15. オープンデータ

問13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

【信頼・協働政策】

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 市民との協働の推進 | 5. 効率的な行財政運営の推進 |
| 2. 地域コミュニティの活性化 | 6. 地域情報化の推進 |
| 3. 移住の促進 | 7. 自治体連携、産学官連携の推進 |
| 4. 市政情報の公開・提供の推進 | |

【うるおい環境政策】

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 8. 省エネ技術の普及、再生可能エネルギーの利用促進 | 11. 自然環境や生物多様性の保全 |
| 9. 環境教育・環境学習の推進 | 12. 緑の保全、花や緑の充実 |
| 10. ごみの減量化、資源化の推進 | 13. 環境美化・衛生活動の促進 |

【にぎわい交流政策】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 14. 観光の振興 | 19. 商業・サービス業の活性化 |
| 15. 国際交流の推進 | 20. 工業・地場産業の活性化 |
| 16. スポーツ・ツーリズムの推進 | 21. 貿易・流通の振興 |
| 17. グリーン・ツーリズムの推進 | 22. 雇用環境の充実 |
| 18. 中心市街地の活性化 | 23. 農林水産業の振興 |

【すこやか安心政策】

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 24. 少子化対策の推進 | 31. 交通安全対策の推進 |
| 25. 子育て家庭の福祉向上 | 32. 防犯対策の推進 |
| 26. 高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実 | 33. セーフコミュニティの推進 |
| 27. 地域における福祉活動の推進 | 34. 健全な消費生活の実現の推進 |
| 28. 障害者福祉の充実 | 35. 地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実 |
| 29. 健康づくり・保健予防の充実 | 36. 質の高い消防・救急の充実 |
| 30. 安心安全な医療体制の確保 | |

【まなび文化政策】

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 37. 学校教育の充実 | 41. 文化財の保護と活用 |
| 38. 青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上 | 42. 生涯スポーツ・競技スポーツの推進 |
| 39. 生涯学習環境の充実 | 43. 人権の尊重 |
| 40. 文化振興 | 44. 男女共同参画の推進 |

【まち基盤政策】

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 45. 快適で利便性の高いコンパクトなまちづくりの推進 | 49. 生活道路、上下水道等の整備 |
| 46. 市街地再開発、土地区画整理事業の推進 | 50. 多様な住環境の形成 |
| 47. 豊かで多様なウォーターフロントの形成 | 51. 広域交通の充実 |
| 48. 魅力ある都市景観の形成 | 52. 人と環境にやさしい交通環境の充実 |

問14. あなたは、鹿児島市の提供する情報など各種データを組み合わせて仕事や地域活性化に活用しようとする場合の課題は何だと思えますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 活用方法がわからない
2. どこに公開されているかわからない
3. 利用の手続きが複雑でわからない
4. 複数の部署からデータが別々に提供されている
5. 公開状況が部署によって異なる
6. 形式、用語、単位、表記などが統一されていない
7. 提供時期が遅い、更新頻度が少ない
8. 特に課題はない
9. わからない
10. その他 ()

問15. 鹿児島市では、オープンデータの取組を実施しています。あなたは、今後鹿児島市がどのようなデータを公開するべきだと思えますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. 指定緊急避難場所情報
2. イベント情報
3. 観光情報
4. 介護サービス事業所情報
5. ごみ収集情報
6. 公共施設情報
7. 駅・停留所情報
8. 医療機関情報
9. 公衆無線LAN情報
10. 公衆トイレ情報
11. AED情報
12. 市営住宅情報
13. 予防・衛生情報
14. 飲食店情報
15. 子育て・保育施設情報
16. 人口統計情報
17. 市議会議員情報
18. 校区・幼稚園情報
19. 消防水利施設情報
20. 特定外来生物情報
21. 入札情報
22. 文化財情報
23. 会計情報
24. その他、写真・画像等のデータ
25. わからない
26. その他 ()

問16. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
2. 個人情報漏えいしプライバシーが侵される
3. ネットワーク犯罪が増加する
4. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
5. 人と人とのふれあいが少なくなる
6. 情報が氾濫し、振り回される
7. パソコンなどを使うことでストレスがたまる
8. 情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
9. 新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. わからない
12. その他 ()

問17. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ ※ ※ ※

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月31日(月)までにご投函ください。